

初音ミク、唯識、胡蝶の夢

下関市 山下 智省

私の大好きな大好きな映画「2001 年宇宙の旅」にこんなワンシーンがある。

木星に向かう探査宇宙船の中。長期間に及ぶ任務の間、クルーはジョギングをしたり、コンピュータ HAL を相手にチェスをしたりして余暇を過ごすのだが、その顔は常に無表情である。地球の両親から届いた誕生日祝いのメッセージビデオを見る時もそれは変わらない。ビデオを見終わり、ベッドに寝そべっていたクルーは HAL に冷たく命じる。「枕を下げてくれ」。バックに流れるハチャトゥリアンのアダージョの陰鬱なメロディが寂寥感をかきたてる。宇宙の旅とは、かくも孤独で退屈なものなのだと想像させられる場面だ。このシーンが秀逸なのは、テクノロジーを介したコミュニケーションのむなしさを伝えているからである。人間は生身の人との対話やふれあいに安らぎと価値を感じるものなのだ。

とまあ、以上の解釈に異を唱える人はあまりいないと思うが、この納得感がはげしく揺さぶられる現象に遭遇した。^{はつね}「初音ミク」である。

初音ミクにあまり詳しくないむきに説明すると、元々はヤマハの開発したソフトウエア音源なのだが、それよりも少女アニメ・キャラクターを想像するのが早いだろう。これが歌ったり踊ったりするのだけれど、目を疑ったのは、CG 合成された初音ミクのライブ映像を見た時だ。ステージ上のヴァーチャル初音ミクに多くのファンが熱狂している姿には、まったくドギモをぬかれた。

よくできた CG とは言え、初音ミクはまどうことなき 2 次元の存在である。ネット空間やゲームで楽しむことまでは理解できるが、現実のコンサート会場に降り立ったその姿と、それを違和感なく受け入れている観客たちの様子に、新しい時

代が来たのかもと戦慄を覚えたのである。存在を実感し、愛着を持つ対象はもはや 3 次元である必要はなく、2 次元で十分なのではないかと。リアリティなるものはどこに行ってしまうのだろうか。

初音ミクから受けた衝撃をもう少し掘り下げてみる。

ヴァーチャル・リアリティというと、昭和世代のオジサンからすれば、空虚な実体のないものといったところである。しかし、一方で我々が実体としてとらえているものが、はたしてどこまで確実なものなのかということにおいては、はなはだここもとないのではないだろうか。ヒトが認識しているあらゆるものは、脳が創り出したイメージに過ぎないからである。

ある実話を例にとる。『46 年目の光』(ロバート・カーソン著、NTT 出版) という本に書かれた話だ。健康な子供であったメイは、3 歳のときに不慮の事故で失明。以後、盲目のまま何不自由のない社会生活をおくっていた(ここがポイント)が、46 歳になって幹細胞移植手術を受け、視力を取り戻す。その半生をつづったノンフィクションである。

手術が成功し、いよいよまぶたを開くことになったメイの目に飛び込んだのは、四方八方から降り注ぐ光と色と形のパズルであったという。続いて、徐々に色の種類や物体の輪郭を識別できるようになる。その後は盲目時代にたくわえた知識、音や臭いや触感といった視覚以外の情報、周囲の助言などを手掛かりに、認識できるものを少しずつ増やしていった。ほどなく社会生活には復帰できたが、見えるものを“正しく”認識するリハビ

りは 5 年以上続けられているところで本は終わる。

メイの体験は、視覚情報と“見えているもの”とは同じではなく、世界を認識するには、脳の手が加わらなければならないことを示唆している。視力回復後のメイのたどったプロセスは、生まれて目が開いたばかりの赤ん坊が周囲を理解していくプロセスとおそらく同じなのだろう。これには言語の習得が密接に関係しており、ものごとの記号化のプロセスにほかならない。

脳は五感というセンサーを通じて得られた外部情報をもとに、記号化などを経て世界を再構築する。我々はその世界の中に生きているに過ぎないのだ。ここで考えてみる。脳が認識する情報を提供する感覚は、そもそもどれほど上等なものなのか。

我々が外部情報を得るのにもっとも頼っている感覚は視覚であろう。ご存知のように、太陽光のうち、ヒトが知覚できるのは可視光だけである。つまり、ヒトの視神経は波長およそ $0.4 \sim 0.8 \mu\text{m}$ の範囲の光のみに反応し、その外側にある紫外線や赤外線、さらには電磁波や放射線を見ることはできないわけだ。よく言われることだが、色あざやかな花も、ヒトが見ている花と、昆虫が見ているそれとは同一ではない。

他のセンサーはというと、可聴周波数はおよそ $20 \sim 20,000\text{Hz}$ で、コウモリのように超音波を感知できない。臭覚の感度はイヌやクマにはるかに及ばない。味覚にいたっては舌の上に 6 種類のレセプターを持っているにすぎない。ヒトのスペックはこの程度のものなのであり、不完全な情報から構築されるイメージが、真実の世界でないことは明らかであろう。この世には、我々の知りえないブラックボックスが横たわっていることを自覚すべきだ。

あらゆる存在は、脳が創り出した主観的なイメージに過ぎず、客観的な存在ではない。この世界観はまさに仏教が説く唯識にほかならない。さらに唯識論はあらゆる存在は実体のない無常、つまり「空」であるという教えに連なる。色即是空、空即是色。仏教が 1500 年も前にこの思想に到達

したことに驚きを禁じ得ない。数ある宗教の中で、仏教がもっとも科学的真理に近いのではないかと私が考える理由の一つである。

実際、現実を認識する時と夢を見ている時との脳の状態や変化は、大脳生理学上区別できないのだそう。現実と夢の境界は、実はあいまい！このことは、すでに古の先人が気づいていた。中国の故事「胡蝶の夢」である。

ある男が眠っていると、蝶になってひらひらと飛んでいる夢を見た。目覚めた男は、はたして自分は蝶になった夢を見ていたのか、それとも今の自分の方が蝶のしている夢の存在なのか、という疑問に思い至る。という説話だが、あながち荒唐無稽な話ではないようだ。

再び、初音ミクに戻る。ステージ上の初音ミクに熱狂する観客たちの頭の中はどんな状態なのだろうか。ペンライトを振り、飛び跳ねている自分と、ヴァーチャルな 2 次元を見ている自分。もうそれを区別することに意味すら求めていないように見える。私は批判的な立場で初音ミク現象を論じているわけではない。新感覚を持つ次世代の到来を予感しているのである。なぜなら、この感覚が「胡蝶の夢」のそれと似ているから。夢を見た男は莊子であり、自由な境地、自由な生き方を説いた思想家であった。

とはいえ、新世代の感覚をすんなりと受け入れられるほど、昭和のオジサンのは頭は柔軟ではない。現実とは現実としてありありと実感できないと不安この上ない。では、どうやって？一つの方法は、ものをじかに触ってみて、そのものが確かに存在することを実感することだろう。まことに単純であり、確実な証明とは言えないまでも。

有名な「ペンフィールドの脳地図」が示すように、脳の体性感覚をつかさどる部位において、手や指の感覚に対応する領域が大きな部分を占めている。モノに触れる感覚に脳が重きを置いているこの事実は、実態とそうでないものとの折り合いをつけるために、生命が進化のプロセスに加えた、いくばくかの圧力を示しているのかもしれない。

セブ島留学 ―準備編―

徳山 新川 邦圭

一昨年、娘の薬学部受験について書きましたが、早いもので、今度は息子が受験生となりました。来年度からは、センター試験も大学入学共通テストと名称を変更し英語 4 技能の検定試験を受験することになりました。以前の日本の英語教育は読み書き重視でしたが、最近は会話重視になってきて、限られた時間の中で、どうやって習得させようかと悩んでいる先生も多いのではないのでしょうか？今年度受験の息子も英語能力証明書が必須ですので、この夏休みは英語の語学留学をさせることにしました。海外留学と言えば、最近はヨーロッパやアメリカが物騒なので、オーストラリアやカナダなどの治安の良い国の人気が高くなっているそうです。ただ、今回は受験生ですので、現地の方との交流を中心とした QOL 重視の留学ではなく、英会話能力の向上に主眼をおいて留学先を探しました。そして、日本との距離や滞在コストなども考慮して、セブ島が一番いいだろうという結論になりました。

セブ島に決めた一番の理由は、格安のマンツーマンレッスンです。その他の国では通常グループレッスンが主ですが、物価の関係でそれでも留学費用はセブ島の倍はします。グループレッスンでは、控えめな日本人ではついつい気後れしてしまう、喋るきっかけがなく全く上達しなかったという体験談もよく見かけます。セブ島では、特に韓国系のスパルタ校などは、CM ではありませんが厳しいレッスンで「結果にコミットする」ことを売りにしています。スパルタ校も良いとは思いますが、今回は高校生を一人で行かせるので、日本人スタッフのいる学校の方が安心なので、日系の学校に 3 週間留学させることにしました。ちなみに、学校に事前に支払った留学費用は 1 コマ

50 分で 1 日 8 コマ(マンツーマン 6 コマ+グループ 2 コマ)+自由参加のグループレッスン 2 コマ、2 人相部屋 3 食付きで 20 万円弱です。

セブ島はフィリピンですが、日本からのアクセスは良く、直行便が成田・名古屋・関空から飛んでいます。セブ島へは、首都のマニラ経由だと福岡からも飛んでいますし、便数も多く料金も安いのですが、子供を一人で行かせるときには避けるべきルートです。マニラの到着が遅れて乗り継げなくなったら最悪ですし、そうでなくてもマニラの空港は世界のワースト 1 に何度も選ばれた悪名高い空港です。多少高くても安全第一です。ちなみに関空発のフィリピン航空の座席にはモニターがありません。自分でタブレットなどに搭乗前に専用アプリを入れておいて機内エンターテインメントを利用します。

行きは関空発ですので、日本語も通じますし、直行便でセブ空港にたどり着きさえすれば、現地スタッフが出口まで迎えに来てくれているので、特に心配することは無いと思います。また、他の国の多くがホームステイを基本にしているのに対して、セブ島の語学学校は寮と食事付きのところが多いです。今回お世話になる学校も寮が学校の敷地内に併設されており、休日を含めて滞在中は 3 食付きですから、とりあえずひもじい思いをすることはありません。また、宿舎には Wi-Fi もありますし、希望者には現地の SIM カードを用意してもらえるとのことです。息子のスマホは SIM フリーですので日本と同じようにスマホが使えるため連絡も取りやすく安心です。

ただ、セブ島はフィリピンの中では比較的治安がいいとは言っても、やはり危険な面もありますから、高校生は基本的に学校から一人では外出

禁止だそうです。でも、土日は休校なので自由時間です。セブ島はビーチリゾートですから学校内にツアーデスクがありますので、他の留学生と一緒にアイランドホッピングなどのツアーに出かけることができるそうです。

心配なのはセブ島への行きよりも帰りです。基本的に学校での現地解散ですので、何かトラブルで帰って来られなくなると困りますので、私達も夏休みをとって後追いでセブ島に行って隣のホテルに滞在して一緒に帰ってくることにしました。

フィリピンの中では比較的安全なセブ島とはいえ、先に子供一人で行かせるので色々と事前準備が必要です。まずは現地での滞在費用ですが、一番簡単なのは日本円の現金を持って行って現地で両替することです。滞在費用は物価が安く、3 食付きですので、レジャー費を含めて月に 3 万円もあれば十分のようです。でも、海外で万一足りなくなったときのことを考えると、カード類があった方が安心です。クレジットカードは基本的に高校生には発行されませんが、デビットカードなら高校生でも発行可能です。

次に、子供 1 人での留学ですので病気や怪我の心配もしないといけないのですが、日本のように支払い能力がなくても、とりあえず治療をしてくれるなんて事は期待できないので、海外旅行保険を掛けておくことが大切です。今回は、クレジットカードの附帯保険を使うことにしました。私が持っているカードは合算で、扶養家族も治療費 400 万円ぐらいの補償はあるので、セブ島なら治療費には間に合うかと思いますが、死亡・後遺障害補償などは少ないので、万一のことも考えて補償の充実した家族カードを高校生の息子にも 1 枚作って持たせることにしました。さきほど高校生では基本的にクレジットカードを発行してくれないと書きましたが、留学の場合は例外として家族カードを発行してくれるカード会社がいくつかあります。私が持っているカードもそのうちの一つで、3 週間の短期留学でも発行していただきました。息子のカードの発行には年会費として 3,000 円かかりましたが、空港ラウンジが使えるプライオリティ・パスが無料でもらえますし、関空までの往復スーツケース宅配 1 つ無料といっ

たサービスもあります。往復空港宅急便は 5,000 円程かかりますので家族カードの年会費は簡単に元を取れそうです。ただし、高校生の家族カードは渡航中の使用に限られ、帰国後 10 日以内に家族カードの解約手続きをとるようにと申込書に書かれていました。また、息子の行く学校には、医務室もあり看護師が日中は常駐しており、週 2 回はドクターも来るそうです。セブ島には日本人観光客が多いのでジャパン医療デスクもありますから、ちゃんと保険を掛けておけばキャッシュレスで言葉の心配も無く安心です。反対に保険を掛けておかないと、ツアーなどで事故に巻き込まれても、フィリピンでは損害に見合うだけの高額な保険金を得られることはないそうで、「ツアーで事故が起きて満足な金銭的な補償はありませんので、ちゃんと日本で海外旅行保険を掛けてきてください」と現地ツアー会社の HP にも書かれています！

現地の交通に関してですが、ジプニーと呼ばれる路線バスはとても安いですが、観光客はスリなど犯罪のターゲットになりやすいので学校からは利用を禁止されています。治安面から近距離でもタクシーの利用を勧められています。ただ、タクシーも日本に比べると料金は安いのですが、よくメーターを倒さず料金の交渉が必要でおつりもくれないし、日本と違い遠距離や辺鄙な所へは帰りの客が取れないからと、よく乗車拒否されるそうです。また、タクシーでも強盗に遭うということがあるそうなので、できれば配車アプリを利用した Grab Car の利用をお勧めします。スマホがネットにつながらないと利用できないですが、事前にアプリで目的地を指定して料金も決まっております。降車時にはクレジットカードで自動決済されるので、目的地の説明や料金交渉をする必要もなく、車は綺麗でドライバーの質も良いので安心と安全を買えます。

また、旅先で困るのはなんと言ってもトイレ。ちなみに、セブ島では、WC (Water Closet) ではなく、CR (Comfort Room : シーアール) と言うそうです。でも、この CR の実体は大変！トイレトペーパーが無いのは当たり前。なんと、便座さえ外出先では無いことが多く、ドアの鍵が壊

れていてドアが閉まらないことも結構あるそうです。そのため、息子の行く学校では到着後、翌朝一番にすることは近所の両替所とトイレトーパー等の購入のためにスーパーに行くことだそうです。トイレトーパーは東南アジアでは配管がすぐ詰まるためペーパーを流せないの、便器の横のゴミ箱に捨てるというのは仕方ないのですが、便座のない洋式トイレはどうしたものか？現地の人たちは、中腰の空気椅子で頑張るか、便器の縁の上に足を乗せて器用にしゃがんで用をたすそうです。かよわい妻達にはおそらく耐えられない事態ですので、何かいい手はないかと考えているとありました！運のいいことに、昨年商品化されたばかりで、商品の名前は「イケベン」、開発者はイタリアの旅行時にやはり便座のないトイレに辟易としたそうで、クッション性が良く、携帯性に優れていて手を汚さずに収納でき簡単に洗えることをコンセプトにしており、すでにamazonで販売していましたので、1つポチッとしました。収納袋以外に便座除菌シートと、ずれない便座シートがセットになっていました。これで安心してセブ島に妻や娘を連れて行けます。

あとレストランですが、やはり注意するのは水です。間違っても水道水を飲んではいけません。氷も要注意です。また、ローカルレストランで

生野菜などを食べるのもお勧めしません。高級ホテルや語学学校などでは氷は飲料水で作、生野菜も飲料水で洗っているの、大丈夫とのことですが、そこはフィリピン、完全に信用するのは危ないかも？飲食は自己責任でお願いします。気をつけないと帰りの飛行機が修羅場になりますので。

危ないと言え、フィリピンは銃社会です。街中でも普通に警備の方々が銃を持って立っています。20年ほど前、初めてセブ島で日系の有名な隠れ家リゾートホテルに泊まった時のこと、プライベートビーチに出て、ふとホテルの方を振り返ると物見櫓があり、よく見るとそこからスタッフが双眼鏡とライフル銃を持ってビーチの警備をしているのではないですか！それに気づいて、とんでもない危険地帯に来てしまったと後悔したものです。セブ島で隠れ家リゾートという、立地はとても辺鄙な所で周辺にはバラック小屋しかありませんでした。ショッピングは、1日に1回ホテルからセブ市街のショッピングモールへ1時間かけて行く送迎車だけが頼りでした。今では周囲の街も発展しているの、しょうけど、セブ島でビーチリゾートを楽しみたいの、でしたら、セブ本島ではなくリゾートホテルの建ち並んでいるマクタン島の方が安心です。また、セブ本島の観光名所の多くはダウンタウンにありますが、この周辺

には危険地帯があるそうです。ちょっと路地奥に入り込めると、ドラッグ中毒の方が多く、何をされるか解らないので地元のタクシーも行くのを嫌がるとか。不幸にも犯罪に巻き込まれて襲われた場合は、抵抗せずに有り金を差し出しましょう。フィリピンは銃社会ですので、命あつての物種です。また、日本人の多くが持っているiPhoneはセブ島でも人気があり、よく観光客が盗まれるそうですので、あまり人前で見せるべきではありません。そうは言っても、実際は現地の方の多くはとてもフレンドリーで良



折りたたんだ状態のイケベンのセット

いばかりなのですが、やはりそこは平和ぼけした日本ではありませんので、犯罪に巻き込まれないように最低限の警戒は怠らないようにしましょう。

最後に、話は英語学習に戻りますが、短期留学だけでもみっちりマンツーマンで勉強すれば、ある程度の効果はあるのですが、やはり「継続は力なり」です。セブ島はオンライン英会話の業者も多いのですが、運営状況は玉石混淆のようで、先生の質や通信環境などを良く検討して利用しないとがっかりすると思います。フィリピンは日本と比べてインフラは十分には整っていませんので、まだ停電も多いですしネットの速度も高速ではありません。オンライン英会話では通信インフラは命綱ですが、中にはとても回線状況の良いとは思えない自宅から多くの教師がつないでいる

というオンライン英会話スクールもありました。オンライン英会話は留学と一緒に基本的にスカイプによるマンツーマンですが、料金は特別なコースでなければ、1 時間当たり 500 ～ 1,000 円程度で、日本でグループレッソンの英会話教室に通う半額以下で済むと思います。留学前や留学から帰国してからもオンラインで英語の勉強を継続でき、予約も自分の都合の良い時に取れるので、融通がきいて結構便利です。冬の寒い夜に英会話教室への送迎というのも大変でしたから、とてもありがたい存在です。これで、息子の英語力が向上すれば言うことなしですが、それは今後に期待しましょう。(笑)



フォトギャラリー

防府 中野 考平

今年 2 月に国家試験が終わってから合格発表までの間、念願の南米パタゴニア旅行を実現することができました。

山口宇部→羽田→成田→ローマ→ブエノスアイレス→エルカラファテと飛行機を乗り継ぐこと約 40 時間。これから始まる旅への期待と、国試で禁忌肢を踏んだのではないかという不安を胸にパタゴニア地方に到着しました。



フィッツ・ロイの写真です。アウトドアブランド「patagonia」のロゴに描かれている標高 3,405 メートルの山です。今から 50 年前、patagonia 創業者のイヴォン・シュイナードが親友で THE NORTH FACE 創業者のダグラス・トンプキンスとともに登頂に成功した山としても有名です。麓の町エルチャルテンからフィッツ・ロイを見渡せるモレーンまで、往復 20km の道のりでした。



パイネ国立公園です。園内のキャンプ場にテントを張り、早朝からトレッキングをして巡りました。ここではパタゴニア名物の強い横風を体感しました。



ペリト・モレノ氷河です。アイゼンを履いて氷河トレッキングを楽しみました。散策後に頂いた氷河の氷を使ったウィスキーのロックは格別でした。

敗戦後、シベリア抑留をされた男の 体験記録（人生の記録）を読んで

岩国市 藤本 典男

この本は70歳ぐらいの隣人がくれたのである。彼の父親が書いた物だという。著者は上田保雄という人である。既に亡くなり、今は写真でしか見ることは出来ない人間であった。

私はこの隣人と殆ど挨拶もしたこともないのだが、妻が何かと、特にミカンなど2～3回貰ったことがあり、それに何らかのお返しをしたりして、彼女が親しいだけであるが、私が読み物好きな事でも言ったのかもしれない。それで、隣人がくれたのではないかと思った。

シベリア抑留の話は知ってはいた。というのは、山口県でシベリアから帰ってきた方がいてシベリアの絵を描いていたからである。他の絵はわかりやすく、見事な絵を描いた人で有名な画家だったが、シベリア抑留の絵だけは4～5点も見たが、ただ画面が黒いだけで判らなかった記憶があったからである。シベリアの印象は陰鬱なものであったようで、黒い色でしか表せなかったに違いない。なぜ負けた国の多くの兵隊達が数年もシベリアに抑留されたのだろうか？このようなことを今迄やった国があったのだろうか？これが、シベリア抑留という言葉を知った時に感じる私の疑問であった。しかし、それについて殆どの日本人は何も言わないし、英字新聞は長い間、時々は見ているが、外国でもそれを話題にした記事を見たこともない。

ポツダム会談というものが、8月15日の敗戦（1945年）の10日前くらいに開かれた歴史がある。メンバーはトルーマン、チャーチル、スターリンの3人である。トルーマンは東洋人を嫌い、特に力を持つようになった日本人を目の敵にした。彼は基本的には白人至上主義者であったにちががなく、そのために日本に戦争を仕組ませるよ

うな発言や政策をずっと続けて来た男であった。

スターリンは既にその時にはドイツに勝ち、何としてもその軍や武器を早く満州近くに集め、日本に宣戦布告をし、領土を広めなければならず、出来れば北海道も手に入れたい思いであったらしい。

1945年8月9日、朝早くモロトフ外相を通じて宣戦布告してきた。敗戦の1週間前である。そして、多くの飛行機で満州を飛行しながら日本兵や住民を銃射し、3,500台の戦車を進めながら、たちまちに満州国を占領したのであった。関東軍はだらしのない戦力しかなかったのである。

そして、この著者等が属していた兵团などの多くをハルビン辺りからチチハル、ハイラル、満州里、そしてシベリア鉄道に乗せ、バイカル湖を過ぎ、イルクーツクを過ぎ、タイシエト辺りまでも連れて行かれる。そこから北に行く支線が出ていて、その30～40キロの所まで連れて行かれ、そこで木材の伐採をさせられた。鉄道の枕木などを作らせるためであった。

シベリアの寒さと飢えのために、7～8割ぐらいの兵隊が死んでいったらしい。

著者は国策に沿って15歳で満州開拓のため、特にこの地のコメ作りのために、関釜連絡船に乗り、朝鮮半島を縦断し、満州ハルビン方面で義勇軍の一員となって種々な訓練を受けた。そこで20歳になった時、その地方の関東軍の人達に強制的に軍人にされた様である。

そして、間もなくシベリアに抑留される羽目になった。そこで4年も種々な労働をして過ごさなければならなかったのである。その間に多くの友達が死んでいくのを見たのであった。

その間にロシア語を喋るまでにはいかなかった

が、多くのこの国の言葉を覚えていて、それらが書き出されているのである。いずれも、私が知らない単語であった。その中で唯一分かったのは、ありがとう、スパシーボだけである。

それで、ついでに、私もロシア語を多少勉強する気になったものである。何しろ、やや英語に似てはいるが読めないのである。

私はロシアの飛行機でウラジオストクを旅行したことがあり、その時の通訳は日本語のできる大学生で、よく日本語を知っていたが、何かの折にロシアは世界一広い国ですからというのを聞いた。そんなことは言わずとも知っているが、どうも世界一大きな国にしては中小企業者の施設が全然見られず、走っている車の 99% が日本の中古車であるのにはやや驚いたものである。

サハリンにも行ったことがある。これは船旅であった。そこでも日本の中古車が多かった。プーチンが日本の輸入中古車に 80% の関税をかけ、自国の車に乗るように言った事があったが、ウラジオストク 60 万人のうち 20 万人近くの人達が、部品を取り変えて日本の中古車に乗れるようにして、それをシベリア地方で売って生活していたので困り、プーチンに「貴方はドイツの高級車に乗っているのに、なぜ日本の車はいけないのか？」という声を上げた。それで関税は撤廃になり、ロシアの車には乗り手があまりいないようである。シベリア地方では日本の中古車ばかりが目立つのである。

サハリンではロシア人の年寄りが信じる宗教の神様の壁絵を私は買ったものである。

この宗教では神様を崇めると同時にロシアの専制君主の存在を認めていて、共産主義思想だけでは足りないのか、ロシア人の心の支えをなしているらしい。

それと、そこの若い娘たちが歌を歌い、踊りをする姿を見せてもらったものである。ポリショイ・バレエと変わらないくらい素晴らしいものであったし、良い人たちと出会った事になる。静かな村の生活で、あまり店も無かったが、街路樹が規則正しく植えられていたのが目についた。

ロシア語が街のあちこちに書いてあったが、それがどう考えても読めないのには残念であった。C は S のようで、P は R の様な発音になる事が日本語の訳語から考えられたが、そのほかに読めないというか、ギリシャ文字のようなものがあって馴染めないのであった。それでもハングル文字よりはましであると感じた。多少は親しめたからである。ロシア語の本を買って来てみると、アルファベットが 26 なのに対して、こちらは 33 であった。その文字の発音を覚えれば大体は読めそうだが、それに慣れるには老人の私には半年以上はかかりそうであった。

まあ、そんな些末なことはさておいて、スターリンはシベリア抑留などと、普通では考えられないことをどうして行ったのであろうか。この男がソビエトの領袖になるまで、少なくとも 1,500 万人のロシア人を殺したというが、この国では力は正義と考えられているようである。そのためには何をやっても多くの国民は納得するというか、少なくとも知らぬ顔をしているらしい。

僅かなインテリが何らかの方法でトップになると、それに従うのがこの国の長い習慣であるかの様である。イワン雷帝などの後、ピョートル大帝が現れた。これがツァーと言われ、貴族と農民達をずっと支配してきた。農民は領地についた付属品であった。馬、豚、牛などと変わらないのである。この土地を売り買いする習慣が貴族にはあった。だから逆らうことはなく、領主に従うことはロシア農民には習慣というか、伝統というか、昔から続いている事である。

エカテリーナ、スターリン、プーチンと自分の思うようにする長に常にロシア人は従って生きる事を当たり前と思っているから、ロシアの偉い人は何でも自分の思うように出来るらしいのである。エカテリーナは出来の悪いロシア皇帝のドイツ人の妻であった。彼女は亭主を廃し、自分が皇帝となった。亭主の代わりに若い貴族や将校たちに夜伽をさせる生活をしばらくは続けたらしい。

領袖はロシア人で無くても良いのである。有能で力のあるものならドイツ人でも結構なので

ある。ペテルブルグに住んでいたエカテリーナに大黒屋光太夫はシベリアから会いに行き、日本に連れ戻してくれるように懇願したという歴史がある。

江戸時代の話である。彼らは名古屋に近い海から江戸に向かい、嵐にあってアリューシャン列島まで流され、そこでロシア兵達に拾われ、シベリアのイルクーツクの日本語教師として連れて行かれる。しかし、日本に帰りたいと考え、エカテリーナに懇願に行ったのであった。

どうも、シベリア抑留はスターリンのこの気儘から出たのではと感じられる。この本を書いた方は当時は若く、飢えに苦しみながらも病気にならず、なんとか帰国する事ができた。

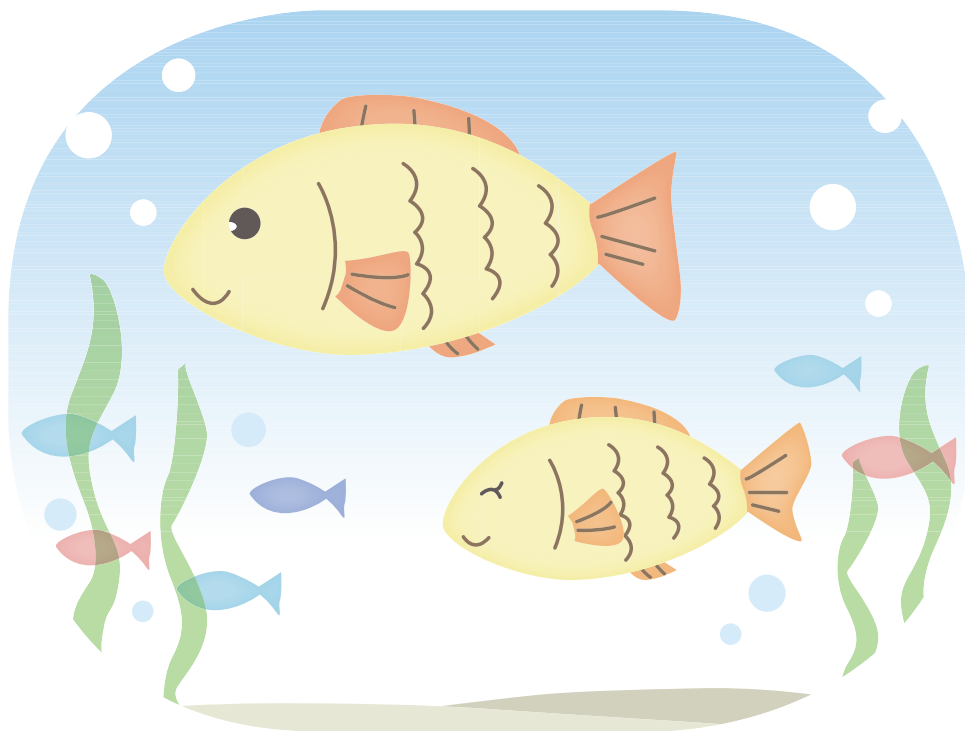
しかし、帰れなかった者は少なくないのである。

スターリンが自国民に気儘をするのは許されようが、他国民を連れ去り、賃金も出さず働かせ、多くの方を飢死させることは日本人の一人としては私には許せない気持ちである。

それにしても、寒い国では少しでも南方の領土が欲しいであろうから、日本の領土の四島を奪ったのである。それを返すはずがない。

日本とロシアの平和条約に、領土の島を返してもらう事を期待するのは、これらの習慣や伝統から考えて難しい事に違いないと思われるが、日本の首相はこのシベリアの惨事を頭に入れ、交渉にあたってはこの事をはっきり言い、それが許されない事件として主張し、何らかの償いを要求すべきであろう。

プーチンといえども日本と仲良くはしたいだろうから、多少の償いはするかもしれない。彼が何をしようと、この国では力は正義であるから、彼のやることに政治的な文句を言う国民はいない。プーチンは政治的な力を蓄えている。これからずっとピョートル大帝のようにロシアに、少なくとも数年は未だ君臨する事であろうからだ。この国には日本では考えられない習慣があり、異なった発想を持つ国であると思われる。



エイジズム

徳山 森松 光紀

最近では老人の運転による交通事故が毎日のように報道されるようになりました。それに伴って、老人の自動車運転に対する風当たりが強くなりました。朝日新聞の本年 4 月 25 日の「声」欄には、34 歳男性から「年齢一律での免許返上の検討を」が掲載されました。要旨は、高齢者は運転の危険を自覚していないことがあり、年齢を一律に区切って免許証を返納させるべきだ、とするものです。それを受けて 5 月 15 日の「声」欄には、61 歳男性が「警察署での免許更新試験を見ていると老人に対して評価を甘くしており、更新時の検査では厳格なチェックが必要」と主張しています。5 月 17 日の「声」欄では、80 歳男性が「気づかずに交通違反を 2 度経験したのち恐ろしくなって自主返納した。原則 80 歳で免許失効とし、81 歳以上で必要なものには、厳しい審査を経たのちに交付すべき」と述べています。

私も老人には厳しい審査を課すという意見には反対しません。私は 78 歳になりますが、勤務の関係から 1 日約 50km 自家用車を運転しています。数年前に、これまで平気で利用していた宇部井筒屋デパート（当時）の狭い立体駐車場で、あっという間に車の横腹をこすってしまい愕然としました。

75 歳を過ぎて既に 2 回、免許証更新のための認知機能検査と高齢者講習を経験しました。経験者にはお分かりですが、認知機能検査のなかに「手がかり再生問題」として 16 個の物体画像を提示されたのち、間をおいて手がかり（ヒント）から想起・記載するという課題があります。私には 16 個はとても記憶できず 10 個が限界です。その結果、評価は「記憶力・判断力が少し低くなっています」となり、その後の講習時間が長くなり

ました。このテストを受けながら、「日ごろ患者さんにやってもらう長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）では物体 3 個の記憶再生で認知症診断をしているのに」とぼやいていますが、どうにもなりません。警察庁のホームページをみると、なぜ 16 個にしたかについて文献を挙げており、また、ご親切に画像 16 個、4 パターンを掲示しています。従って、今後は成績向上のために予習して行くつもりです。新聞の「声」欄には、老人には更に厳しい実技評価も加えるべきだ、という意見も記載されています。いずれにしろ、評価を厳しくして老人の運転者数を減じることはやむを得ないでしょう。

ここで気に入らないのは、老人はすべて排除せよという考えです。エイジズム（ageism）という言葉があります。Wikipedia（日本語版）によれば、エイジズムとは RN Butler（老年学者、1969）によって提唱された言葉であり、「齢を取っているという理由で高齢者たちを一つの型にはめて差別すること」と記載されています。つまり、老人は心身の能力が壮・若年者よりも劣っているという、否定的かつステレオタイプな考え方をいいます。この文章の作者は、エイジズムの例として「年齢を理由に役職を退くべき、運転免許を返納すべきという言説が該当する」と述べています。もとより一部の老人では、運動能力あるいは知的能力が若年者に引けを取らないことはよく知られています。三浦雄一郎氏の如く、80 歳でエベレスト登頂した人もいます。私の大学時代の同級生は、現在もなお私立大学の教授を務めています。

運転中の事故に関して、警察庁の統計（2019 年 2 月）を見ると、運転者の年齢層別死亡事故件数（平成 30 年：図 1）では多い順に 40～49 歳、50～59 歳、60～69 歳、70～79 歳、20～29 歳、30～39 歳、80 歳以上であり、特に老人の件数が多いわけではありません。実数ではなく事故比率であろう、ということに関して別の統計（平成 30 年：図 2）では、事故比率は 16～19 歳と 80 歳以上が圧倒的に高く、70～79 歳、20～29 歳、60～69 歳、50～59 歳、30～39 歳の群では大差ありません。従って、エイジズムの対象になるのは 80 歳以上ということになります。

この統計からも、壮・若年者の運転が安全ということは決してありません。私は朝 6 時 30 分に車で家を出ますが、秋冬はまだ暗く、老人たちは動きださない時間です。赤信号で停止していると、信号を無視して交差点を通過する車がときにあり、びっくりします。道路で左右折するときには 30m 手前でウインカーを出すのが規則ですが、大部分の車は曲がり始めて出するか、あるいは出さないというところで、交通法規無視は日常茶飯事です。また、悪名高い「あおり運転」も壮・若年者

のものでしょう。つまり危険運転は老人に限ったことではありません。

欧米では、年齢を基準として老人を差別待遇することは法的に認められていません。Wikipedia（英語版）によればアメリカでは各州法、連邦法で雇用における年齢差別を禁じていると書かれており、従って定年制が存在しません。ただし、警察庁のホームページによると、アメリカの州によっては年齢に伴う「限定免許制度」があると記載されています。例えば 80 歳以上（アイオワ州）または 75 歳以上（イリノイ州）では免許更新時に実車による再試験が行われ、その成績によって時間・場所・車両・速度等の限定が課されるとのことです。しかし、年齢により一律に排除されることはありません。現在の風潮では、わが国でも「限定免許制度」の方向に向かうことは避けられないでしょう。6 月 14 日のニュースでは、政府は老人には「安全運転サポート車」を課す方向で検討すると報じられました。サポート機能とは「衝突防止システム」と「ペダル踏み間違い時の加速抑制装置」を意味すると思われます。

実は、私も情勢に鑑みて今年に入り思い切って、

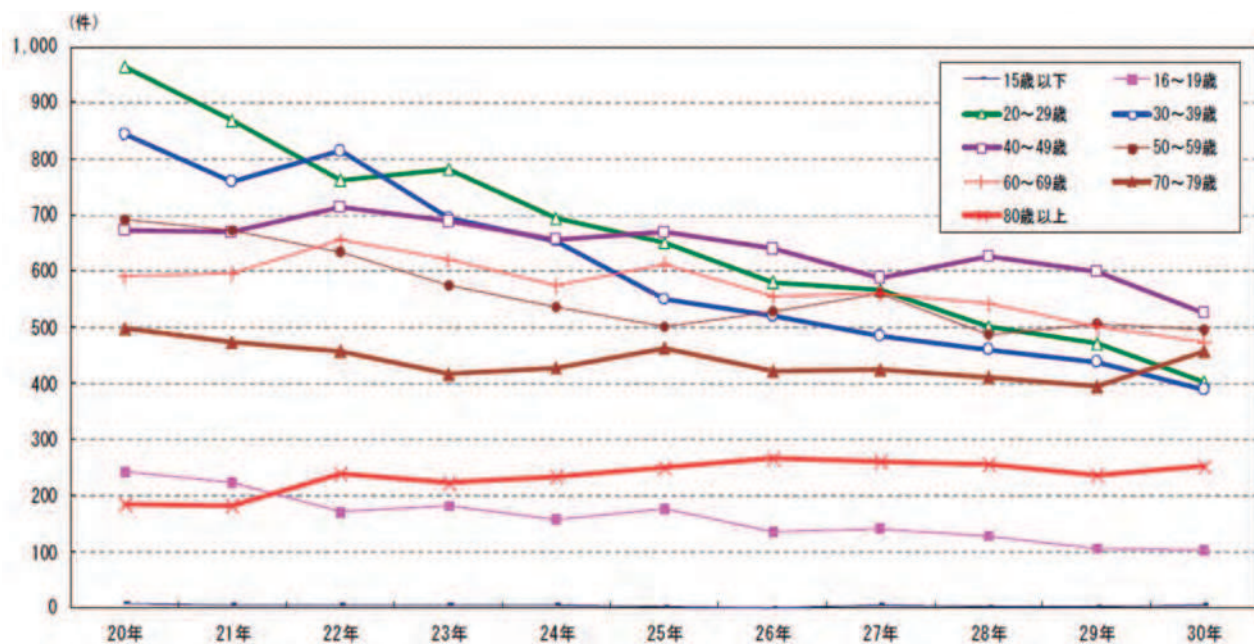


図 1 原付以上運転者（第 1 当事者）の年齢層別死亡事故件数の推移（警察庁）

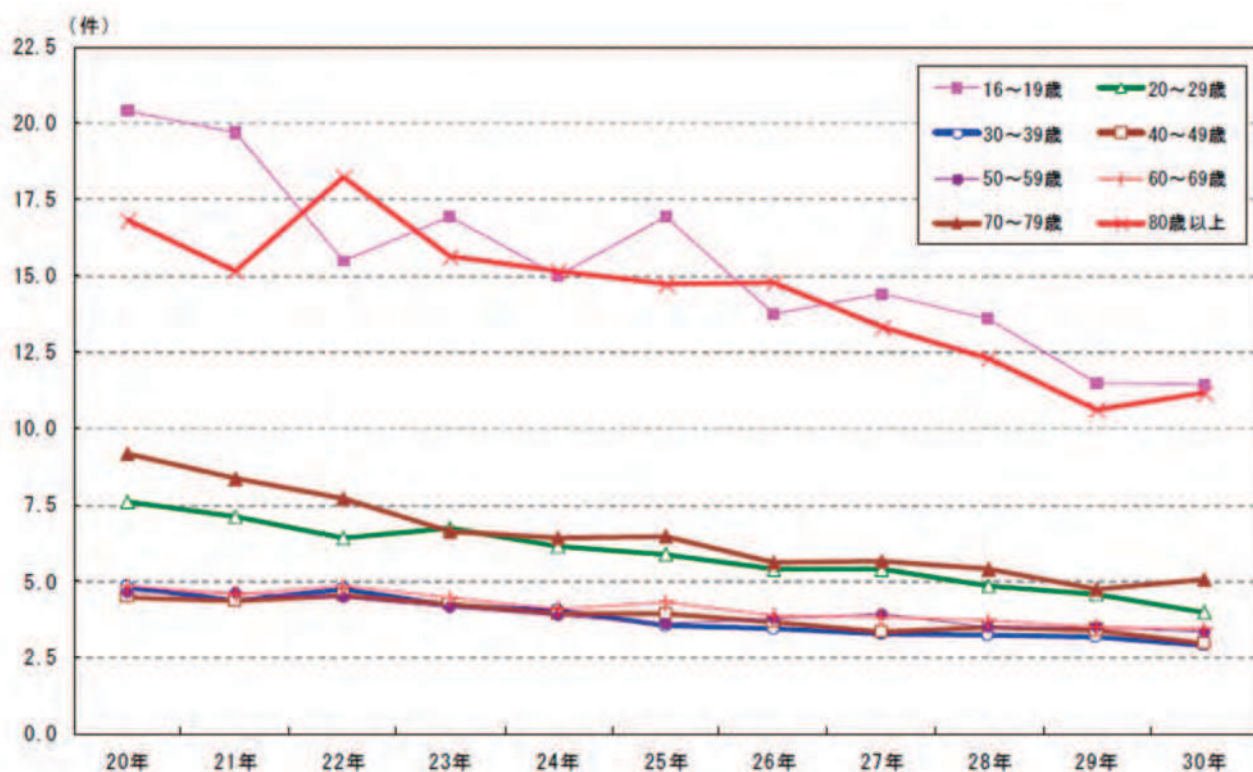


図2 原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別免許保有者10万人当たり死亡事故件数の推移（警察庁）

今までよりも小さな車で、これらの安全装置付きの新車に買い替えました。しかし、すべてが正確に作動するかどうかについて実験したことはありません。業者は「時速40km以内なら衝突防止を保証しますが、それ以上では無理です」と述べています。

私が主張したいのは、80歳以上を除けば、それ以下の老人の事故数と事故率は壮・若年者と同等ということから、交通事故を減らしたいのなら、老人ばかりを目の敵にしないで、若年層にも同等に厳しいテストを課す必要があるということです。「若気の到りの乱暴運転または法規無視運転」

を避けるために、今以上に厳しい交通法規と実技の試験のほかに、適切な心理テストを受験者すべてに行ってはいかがでしょうか。テスト方法が難しいと言われるかもしれませんが、老人に対する複雑な認知機能テストを開発した努力をもってすれば可能と考えます。その結果、多数の老人と壮・若年者が排除されるでしょうが、運転人口が減ることは交通事故減少につながり、よい施策と思います。

美しい (七) 十代

下関市 塩見 祐一

今は昔、映画会社の日活がロマンポルノ路線に転換する以前は、180 度に位置する純愛をテーマとする青春歌謡路線であった。『美しい十代』もその一つで、主演は浜田光夫と西尾三枝子、ストーリーなんて面白くも糞もなかった。一番の売りはデビューしたての美少年・三田 明が歌ったコノ主題歌。今でも一人鼻歌まじりの時に引かかるのは 2 番♪「昨日習ったノートを君に貸してあげよう やさしい君に」だ。ここに優しいのは彼女じゃなくアンタだろう。そこのところは古風に「愛^{いと}しい君」にすべきと、妙に憤る僕だった。なぜって、映画の彼らより教育環境に恵まれていても全然モテなかったから。

2 月某日。またまた受験の悪夢を見た。今回は大学受験と医師国家試験が合体したやつで、高校物理のテストをパスしてないから国試を受ける資格がないというのだ。慌てて書店に物理のまとめ本を買いに行ったが、どのページを繰ってもチンブンカンブン。部屋に帰って「どうしよう？困った、困った」と頭を抱えていると、「待てよ、確か俺は今、医者なんだよね、だったらコレは夢ヤ！」で目が覚めた。

僕が高校 3 年次（理系）の 1 学期中間試験前日の休み時間に、物理が得意そうに見えたのか、一つ前の席の F 君が「この問題の解き方を教えて」と聞いてきた。「そんな計算が面倒なのは出るはずないよ」とウッチャッテおいたのに、当日の試験にソノマンマが出て、僕は○だったが F 君は×。まだ精神的に幼く、謝れば済むものを、変な罪悪感から、以後、物理の勉強をピシヤリやめた。その授業時間は文系が取る生物の内職をした。物

理担当の先生は退官後のお年寄りで、教師として良いのか悪いのか僕を放っておいてくれた。他の先生は予習無視の僕を熱心さゆえ or 可愛くないから？答えられるまで席や黒板の前で立たせたのに。そして、遂に 2 学期中間テストの物理で生まれて初めて「0 点」を取った。

こんなイヤなことを死ぬまで夢に見たり、思い出したりするのはタマランと一大決心をした。「善は急げ」で翌日から『大人のやりなおし中学物理』→『大人が学び直す物理でわかる身のまわりの疑問』→『新しい高校物理の教科書』と読破した。そして現代物理の究極は『宇宙の誕生と終焉』に行きつくのだと知った。少しは自信がついたのか、あの日から物理が夢に出て来ない。イヤイヤ、それともシーズンじゃないだけかな。

3 月某日。今季のインフルエンザ A 型の流行がおさまり、B 型もマダ襲来前のハザマにこの度の町内大カラオケ大会は開催されることとなった。去年は 2 月にあったが、ちょうどインフルエンザのピーク時だったので、公衆衛生的見地から参加しなかった。今回については大会々長さんから「人数が足りないのでは是非歌ってください」と頼まれ、ムゲに断る理由も見当たらず引き受けた。

そこで町内会保有のカラオケ曲目リストを見せてもらった。無いよ、無いよ、僕の十八番『今日でお別れ』どころか二番手の『よせばいいのに』も無いじゃないか。しょうがないな、それならとヤット見つけた舟木一夫の『高校三年生』を歌うことに決めた。「カラオケは奥が深い」と言われる人たちにご無礼があっちゃならんと、古い CD『舟木一夫全集』を戸棚から取り出し、時間があ

れば開かずの間や風呂場で特訓をした。

当日は天気も良く、ぽかぽか陽気で、ちょうど愚妻も里帰り中だった。アドレナリンは全開、ダウンをハオリ、家を出て、ジャスト時間通りに会場へ着いた。

サア、僕の番が来た。重苦しいダウンを脱いで颯爽と学生服姿で壇上に上がり、渡されたマイクで「この日のために長男が昔着ていた学生服を借りてきました。どうぞ皆さんも手拍子をお願いしま〜ス！」と前口上し、チャン・チャン・チャチャン・チャ・チャラランラの前奏へ続いた。

1 番は 72 才のシニア・バリトン (?) の地声で、2 番は自分では似 Chorl と思う舟木一夫の物まねで、3 番は次の替え歌でぶちかまし、ラストは懐メロ歌手がするように右手を大きく宙に伸ばしきった。

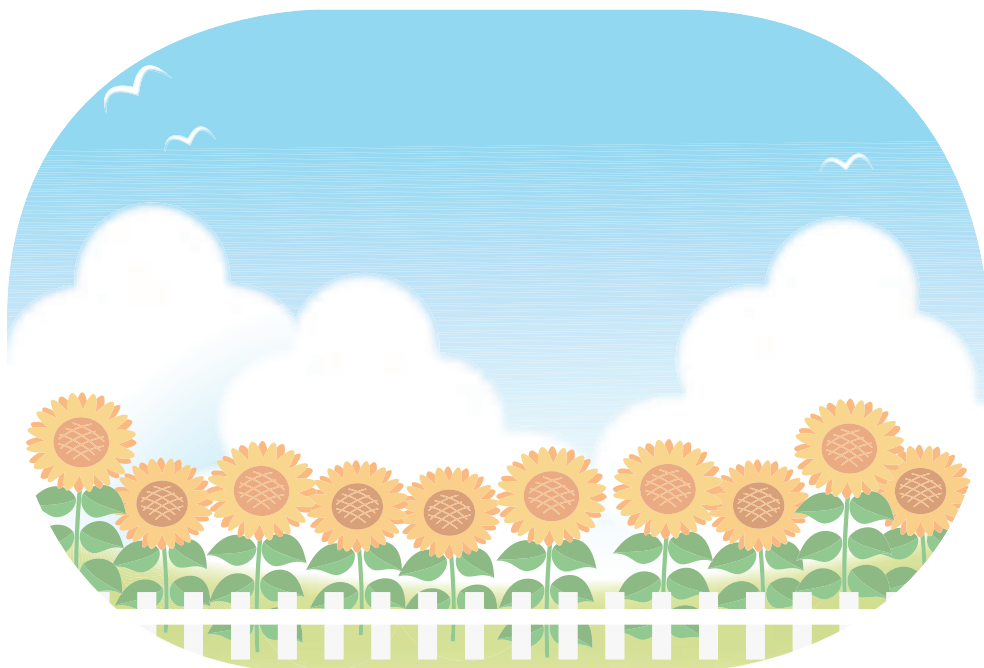
♪「残り少ない命を胸に、
口に出るのは愚痴ばかり〜、
ア〜ア〜ア〜前期高齢者〜、
僕ら歌の好みは違っても、
カラオケ大会は〜いつまでも〜」

拍手喝采で、恥ずかしながらグランプリだった。
最後の文句が効いたのかな。

終わって下駄箱でクツを履こうとした時、来ていたオバちゃんが僕に「あんたはお父さんにヨオ似とる！」と。父はとっくに死んでいるのになんか「ハア？そうですか」と答えた。次の日の外来で患者さんが「先生の息子さん、上手にウトオとった！」と誉めてくれたので、やっと意味が分かり「あれはコノ僕なんよ」と言った。冗談に「眼科や耳鼻科に診てもらったら」と口から出そうになったが、いつもの僕って貫禄があって生真面目に見えているのだなと、嬉しくて「ありがとうね」と返した。

それでは、「遅くなるからサヨナラしよう」が出だしの『美しい十代』3 番の替え歌・副題『美しい七十代』でお仕舞いです。

♪「年を取っても閉院出来ぬ、
開業した〜ら尽きない仕事
今は元気な僕たちだ〜って、
やがて受け取る虚しい知らせ
美しい七十代、ア〜ア〜七十代
提げて生きよう、stethoscope (聴診器)」



疾風のように

徳山 中村 和行

NHK の大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック^{ばなし}」の視聴率は大河史上最低の 6.7% と低迷しているようですが、通称「竹早の第二高女」の体育教官となった金栗四三役の中村勘九郎を熱心なファンがツイッターで絶賛しているようです。「竹早の第二高女」の女生徒達にもアフリカの草原を走り回っていた人類の祖先の DNA が引き継がれているのでしょうか。ヒトは走ると爽快に感じるようです。狩りで移動していた人類が米や麦を栽培することで定住し始め、毎日の生活の中で走る機会を失って久しいのですが、座位での仕事が増えたことも肥満の原因で、寿命を短くするとの報告もあります。最近の健診のメタボ診察でも、「運動しましょう」と指導することが多くなったように感じます。

ところで、「いだてん〜東京オリムピック」の視聴率の低さについては様々な意見が寄せられているようですが、歌舞伎役者の中村勘九郎がしっかりつくりあげた健康的な身体に痺をしめて水浴びをするたびに「ひゃーっ」と叫ぶ場面は脳裏に残りそうです。熊本の片田舎から日本の近代化の真っ只中に飛び込む羽目となった金栗四三とその家族や友人たちの姿には、近代化を目指す当時の日本人の心意気を感じることができます。1912 年にストックホルムで開催されたオリンピック競技大会のマラソンで、日本人最初の出場権を獲得した金栗四三を取り巻く人々の奮闘ぶり、日本での近代スポーツ競技の普及に情熱を燃やした人達の気概に感動します。また、金栗四三の幼なじみで妻になった池部（旧姓：春野）スヤを演じる綾瀬はるかも、明るく自然な夫婦愛を醸し出しています。

一方、単距離走で出場した三島弥彦は惨敗に終わり、日本人と欧米人の体格差を痛感して 50 年先を目指して日本が体育の振興を本格的に始めるように加納治五郎に提言しています。ちょうど、三島弥彦の言う 50 年後に短距離走では日本男子の活躍が目覚ましいようです。まさしく、疾風のように走り抜ける 100 メートル競走では 9 秒台の記録が続いています。1964 年の東京オリンピックから 55 年の歳月をかけ、陸上競技で男子 100 メートルのファイナリストが現れるような期待が膨らんでいます。その有望株の一人がサニブラウン・アブデル・ハキームです。彼はガーナ人の父と日本人の母を両親に持ち、母親は全国高等学校総合体育大会の陸上競技で 100 メートル走とハードル走に出場した経歴を持っています。サニブラウンは小学校の時からサッカー少年でしたが、母親の勧めで陸上競技も始め、高校 1 年生の時に第 69 回国民体育大会 100 メートル（少年の部）で優勝しています。記録は 10 秒 45 でした。さらに、2015 年の第 9 回世界ユース陸上競技選手権大会では 100 メートル 10 秒 28 と 200 メートル 20 秒 34 の記録で共に優勝しています。2017 年の第 101 回日本陸上競技選手権大会では 100 メートル 10 秒 05 の記録で優勝、さらに 200 メートルでも 20 秒 32 で優勝し、二冠に輝いています。同年 9 月から彼は米国のフロリダ大学に進学してマイク・ホロウェイの指導の下にその才能を伸ばし、2019 年 5 月には 100 メートル 9 秒 99 の記録を出して桐生祥秀に次ぐ 9 秒台ランナーとなりました。そして、6 月には全米大学屋外陸上競技選手権大会で、9 秒 96（追い風参考記録）と 9 秒 97（追い風 0.8 m）の日本記録をつくっています。2020 年の東京大会の参

加標準記録は 10 秒 05 ですが、日本人では 10 秒 00 の記録をもつ山縣亮太と合わせて 3 名が標準記録を突破しています。今後の日本の疾風たちから目が離せません。因みに山縣亮太は修道中学校、修道高等学校を卒業して AO 入試を経て慶応義塾大学総合政策学部に入學しています。

2020 東京大会の開催まで 400 日を切っています。ところで、皆さんは観戦チケットの申し込みはされましたか。世界から 750 万件の申し込みがあったようです。宝くじ並みの当選率でしょう。特に幸運な方は一生に二度のオリンピック開会式に参加できるかもしれません。

さて、筆者が 1964 年東京オリンピックをテレビで見たのは中学校に入學した年でした。それを遡ること 6 年、KR テレビで放送された冒険活劇番組「月光仮面」は子供たちの心をつかんでいました。大瀬康一 扮する主役の祝 十郎はヒーローでした。制作担当だった宣弘社社長の小林利雄はスーパーマンみたいなヒーローにしようと言ったそうです。スーパーマンのキャッチフレーズは「空を見ろ、鳥だ、飛行機だ、いや、スーパーマンだ」

でした。月光仮面は空飛ぶスーパーマンではなくてオートバイ（ホンダから提供されたもの）に乗ったヒーローでした。番組のストーリーは、私立探偵の祝 十郎が変身した？月光仮面が悪役のどくろ仮面と戦うシーン（図）ですが、白いターバンを巻き白いフレームのサングラスを掛け、額には三日月が付いていました。子供心にカッコイイと思っていました。今になって考えると時代劇「旗本退屈男」の主人公の早乙女主水之介の額に三日月型の傷があり、ヒーローのトレードマークになっていましたので、それを真似たのかなと思います。早乙女主水之介の額の傷は長州藩の悪侍との切合いでつけられたという設定ですが、徳川幕府を潰した長州藩への恨みは大きかったのですかね。いずれにしても、「月光仮面のおじさんは正義の味方よ、良い人よ」と口ずさんでいた子供たちにとっておじさんの月光仮面が頑張っている姿はカッコイイのです。当時の子供たちのヒーロー月光仮面は疾風のように現れて、疾風のように去っていくのです。



図 どくろ仮面と戦う月光仮面
(Wikipedia より引用)

絵画ギャラリー

山陽小野田 早川 幹夫

日本海を望む山口県の山陰地方の小さな漁港の波戸で釣りを楽しむのが、少ない趣味の中の一つである。

波戸からは、いろいろな漁船が岸壁に係留されているのが見渡せる。

いったい、あの船はどんな漁法でどんな魚を獲りに沖に出ていくのか興味がわいてくる。

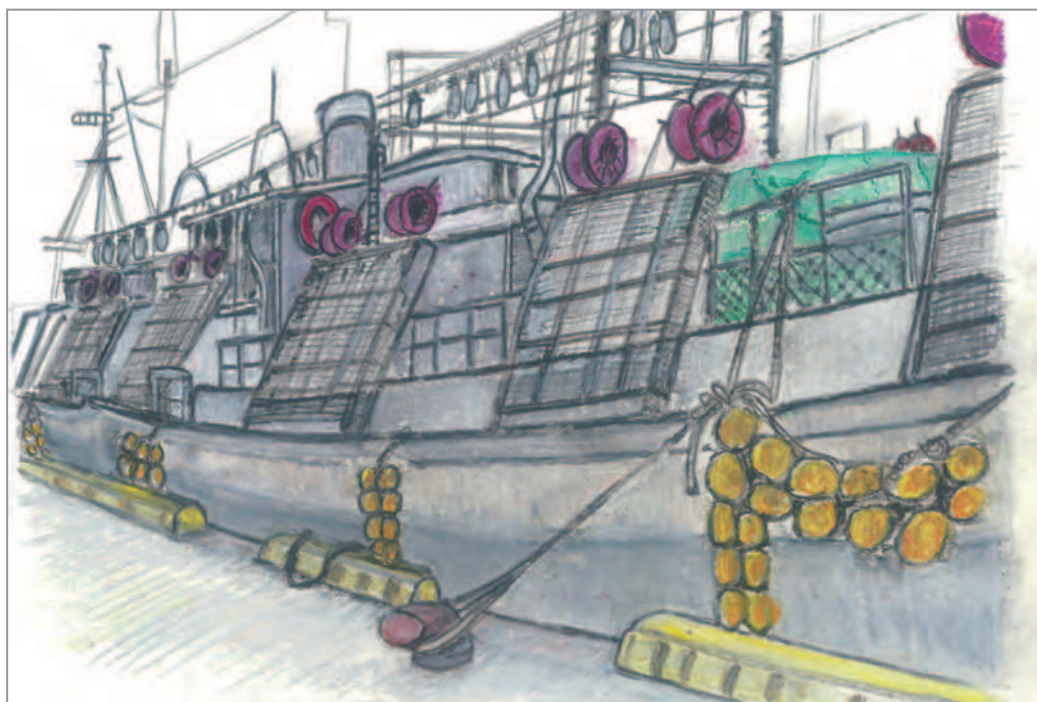
ここ 2～3 年前頃よりこれらの漁船をクレパスで描いている。



巻き網漁

長門市三隅野波瀬の巻き網船団で、それぞれ役割を持った船がチームを組んで行う漁であるが、最近は操業していない。

なお、萩市大島の巻き網船団は最近、漁業として脚光を浴び活躍している。



特牛港の沖合イカ釣り漁

ハイクテク機器を備えた中、大型漁船では、コンピュータ制御の自動イカ釣り機が活躍する。



萩市越ヶ浜のフグ延縄漁^{はえなわ}

船団を組んで東シナ海方面の外洋まで出漁する。

萩がフグ漁の最大拠点でもあり、漁獲されたフグは下関で水揚げされる。

骨は語る

山口大学 しまふくろう

鎮西八郎 為朝の
 軍をよせし 運天に
 夜明けの鼓 鳴りわたる
 たてよたてたて 勇ましく
 ふるいおこさん 自治のその
 ああ我等が 自治のその



上に掲げたのは、ぼくが通った明治 21 年創立の天底小学校校歌第三番歌詞です。校歌とは思議なもので、中学や高校、ましてや大学の校歌な

どは歌詞も曲も全く忘れていますが、小学校の校歌は今でも歌うことができます。

特に、その第三番歌詞は有名な武将の名前が歌われており、妙に心に残っています。作詞は仲宗根政善先生で、あの「ひめゆり部隊」の引率者の一人として、沖縄戦体験を通した数多くの著書を著しています。

ふるさと運天港を見下ろす崖の上に、「源為朝公上陸之跡」と刻まれた石碑があります。大正 11 年に元帥東郷平八郎の尽力で建立されたものです。「保元の乱」に敗れた為朝が、追討され琉球へ逃れる際に暴風雨に遭い、「運を天にまかす」と言って流れ着いたところがこの地であった、との伝説があり、このため運天という地名がついたと云われています。小さい時に遠足で、よく先生に連れられてここへ来ました。さらに、崖を上って行くと、為朝がしばらく住んでいたという洞窟があり、彼の手形の跡らしいのがありました。

鎮西八郎為朝、すなわち源為朝（1139～1170？）は平安時代末期の武将で、源氏の棟梁六条判官源為義の八男、母は摂津国江口の遊女と



写真 1 「源為朝公上陸之跡」と刻まれた石碑。建立に尽力した元帥東郷平八郎の名前が刻まれている。

伝えられています。源頼朝、義経兄弟の叔父です。身の丈七尺二寸（218センチ）、筋骨巖のようで、気性が荒く、また生まれつきの弓取りで、左手が右手より四寸も長く、八人張りの強弓を楽々と引くことができました。生まれつき乱暴者で、十三歳の時、崇徳上皇の御前で無礼を働き、父の為義によって九州に追放されましたが、そこで味方を作って暴れ回り、一帯を制覇して、鎮西八郎を名乗るようになりました。



イラスト：司馬さやか

「保元の乱」では父とともに崇徳上皇方につき、強弓で大いに奮戦するも敗れ、伊豆大島へ流されています。しかし、そこでも大暴れして追討を受け、ついに自害したということになっています。

ところが、琉球王国の正史『中山世鑑』では、この時、為朝が琉球へ逃れ、その子が初代琉球国王「舜天」になった、としています。この話がのちに曲亭馬琴の『椿説弓張月』創作のインスピレーションとなりました。この話は、琉球国王族尚氏の権威付けのために創作された伝説、と永らく考えられてきました。

1996 年から 2004 年にかけて、中山王英祖（在位 13 世紀後半）と第二尚氏 7 代王尚寧（在

位 1589～1620）が葬られたとされる「浦添ようどれ」の発掘調査が行われ、予想もしなかった結果がでています。両王陵の最少被葬者数は乳児から成人までの老若男女計 156 体であった、とのことですが、王とその一族と思われ、比較的保存状態の良い頭骨も含まれていました。慎重に復元された頭骨は先史時代人とも近世人とも似ていませんでした。頭を上からみた形は長く（長頭）、顔つきは平坦、そして何よりも驚きなのは極端な突顎（出っ歯）であったことです。この特徴は、日本の人類学者なら知らない者はいないというくらい良く知られたものです（ぼくも知っていた）。本土の中世（鎌倉時代～室町時代）遺跡からの出土人骨には必ずと言っていいくらいに見られる特徴です。この本土の中世人に共通する独特の特徴が、沖縄の同時代人、しかも王族の中に確認されたことは何を意味するのでしょうか？

北山、中山、南山の三つの王国に分裂していた琉球は、応仁の乱（1467）のおよそ 40 年前の 1420 年代に尚氏によって統一されています。そして、パレンバン・ジャワからマラッカ王国まで非常に活発な貿易を営んで、莫大な富を蓄えました。この繁栄は 1458 年に尚泰久王によって造られた「万国津梁の鐘」に記銘されています。このような国家は港市国家と呼ばれ、琉球はユーラシ



写真2 石碑がある公園から見た運天港。古から波静かな天然の良港であった。

ア東部で歴史上最大の港市国家、海洋大国でした。

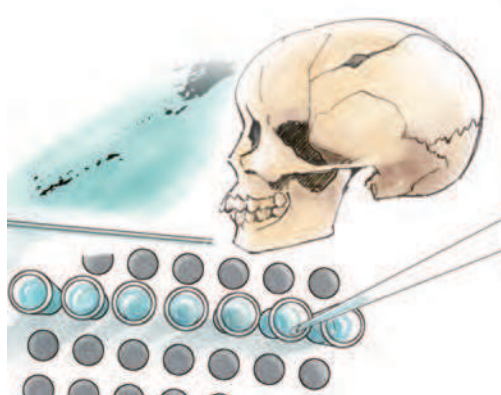
琉球は応仁の乱の前までは足利幕府の勘合貿易のシステムを尊重していました。乱後には薩摩の島津、肥後の相良、日向の伊東などの南九州の戦国大名が琉球王国の臣下となっています。そのまま行けば、琉球王国が八重山諸島から南九州を束ねる盟主になっていたかもしれません。山口の大内氏も応仁の乱後に日明貿易を独占し、栄華を極めたことは周知の事実です。これがどれだけの富だったのか？京都嵐山に、足利尊氏が後醍醐天皇の菩提を弔うために建立した天龍寺という巨刹がありますが、この建立費が一回の日元貿易でまかなえた、とされています。

ただ、この状況は 1511 年のポルトガルによるマラッカ制圧により、琉球は交易ルートを奪われ、その海洋大国としての富も失ってしまい、変化していきます。その結果、国力は低下、1609 年の薩摩藩による侵攻に抵抗できなくなったのです。

最近発見が相次いでいる考古学の活性化や PCR 技術などを用いた遺伝子の解析などから、琉球諸島の人々と、南九州の人々（熊襲や隼人か）との密接な関連性が言われだしました。どうも琉球諸島へは南から海を渡って来たのではなく、北の南九州から島伝いに移住したと考える方が理にかなっています（地図をみて渡海距離をみれば分かります）。そういえば言葉のイントネーションもとても似ています。電車などで鹿児島の人たちが話している薩摩弁を聞くと、言葉の意味は判然としませんが、リズムやイントネーションはまさしく琉球語です。高宮広士 札幌大学教授が琉球諸島に人々が適応できたのは、縄文中期後半から後期以降であるため、10 世紀から 12 世紀頃に農耕をする人々が南九州から移住して来たのでは、と指摘しています（『朝日新聞』2010 年 4 月 16 日）。

為朝伝説は論外としても、10～12 世紀頃に大和から人々の移住があったらしいことは、発掘された骨が雄弁に物語っています。梅原 猛 先生

によると、古事記のスサノオは韓の国からやって来た神で、琉球においては和におられた為朝がその役目をしているのかもしれませんが。いずれにしても、自分たちの足もとの歴史さえよく分かっていない、というのは情けない限りです。令和の時代は考古学や骨学、分子遺伝学などの活性化により、新たな事実がさらに解き明かされると思われます。ぼくたちはサイエンティストとして科学的事実に基づき、自分たちの列島の豊かな歴史像を打ち立てなければなりません。これが偏見や声高い人々への盲従を避ける、一番確かな道かと思えます。



イラスト：司馬さやか

参考資料：

1. 「鎮西八郎為朝」 津本 陽 講談社文庫
2. 「沖縄骨語りー人類学が迫る沖縄人のルーツ」 土肥直美 新報新書
3. 「日本史の常識が変わった」 文藝春秋 （2018 年 6 月号）文藝春秋社
4. 「新版 琉球の時代ー大いなる歴史像を求めてー」 高良倉吉 ひるぎ社
5. 「DNA でたどる日本人 10 万年の旅」 崎谷 満 昭和堂
6. 「日本人になった祖先たちーDNA から解明するその多元的構造ー」 篠田謙一 NHK ブックス
7. 「葬られた王朝ー古代出雲の謎を解くー」 梅原 猛 新潮文庫

私の俳句日記

徳山 篠原 淳一

私が句会にお世話になって 5 年ほどになります。

句会では毎回、熱心な御指導のおかげで自己流の俳句から徐々に脱却しつつあるようです。

正式の作法や作句の仕方についていろいろと勉強になり、先生方の御指導には大変感謝しています。

俳句上達の第一歩は、まずは句会からといわれる所以です。

実際には毎回、それぞれが好きな十句を選んでそれぞれの句評を述べます。

個性のある俳句揃いで、又、皆さんの句評を聞くのは楽しいです。

こと句作に関しては、どうしても独りよがりになるため、こういった客観的な句評は大変勉強になるのです。

私は以前から高浜虚子門下で 4S のひとり水原秋桜子 先生のファンだったので俳号を秋水子としました。

古来、俳句は多作多捨といわれ、季語を決めて数多く作るうちに次第に俳句理解が深まってゆくそうです。

明治期に正岡子規が「写生」という考えを最初に提唱し、高浜虚子がさらに「客観写生、花鳥諷詠」と発展させました。

芭蕉翁は「俳句は三歳児にやらせよ」と言っていますが、先入観や固定観念のない幼児が、より純な佳句を作れると言いたかったのでしょう。

句作の際、「まずは自然をよく観察するように」と昔からよく言われています。

高浜虚子翁によれば「目の前の風景をみればいくつかの季語が出てくる。その一つを選んで作句してみるのだ」とか「俳句は頓智で作るもので

はなく、ジッと考え込んで作るものだ」とも言っていますが、含蓄のある言葉だと思います。

わたしは仕事柄、病院内での生活が中心のため、移動中の車から季節の変わり目などをよく観察したり、病院内の身近な人の観察を密にするように心掛けていますが、視野が狭くならない工夫がこれからは必要でしょう。

日常生活の中で目についた風景をひとつひとつ選んでスケッチ風に作句し、これを自分で俳句日記と呼んでいます。

毎朝散歩していますが、これもひとつには自然観察が目的でもあり、小吟行ともいえるでしょう。朝の溪流沿いの四季折々の風景は、心を和ませホッとすることがあります。

最近は俳句脳という言葉がありますが、こういった俳句作りは私には気分転換になります。

俳句は短歌と違い、喜怒哀楽を直接表現しないことがひとつの約束事になっており、同時に省略の文学とも呼ばれます。俳句が男性的と言われる所以です。

毎日、歳時記を傍に置いての生活ですが、これからは四季折々の変化などよく観察しながら日々生活してゆきたいと考えています。句会の皆様の御健吟をころよりお祈りします。

「ビルマの豎琴」とミャンマー

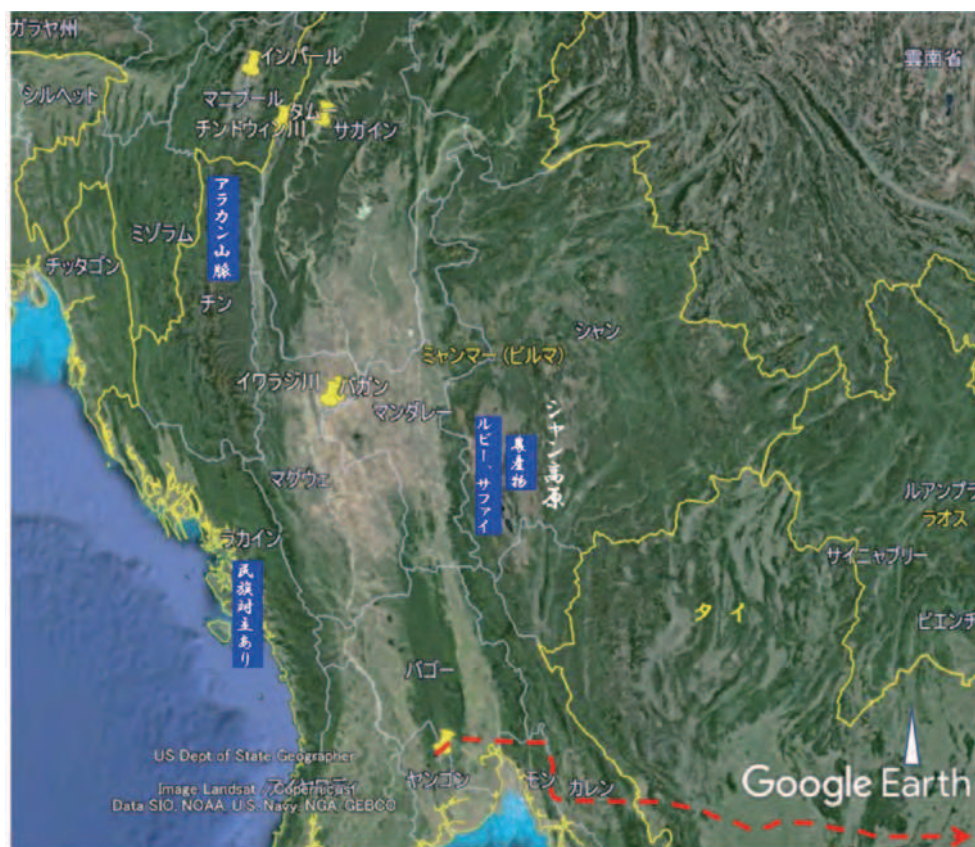
下松 岩本 功

「おい、水島。いっしょに日本に帰ろう！」と手をあげて呼びとめようとする収容所の柵越しの戦友たちに、ビルマの地で散って行った戦友たちを弔うためにビルマに残ることを決心したビルマ僧姿の水島上等兵は、豎琴で別れの曲を奏でたあと、ゆっくりと森の中に去って行きました。映画化された「ビルマの豎琴」では、この別れのシーンが観る人の心に響く人類愛や感動を呼びます。

今年の 2 月に愛知県海外協力隊を支援する会の設立 40 周年記念事業に誘われて、ミャンマー

を訪問する機会に恵まれました。現ミャンマーは 135 民族が暮らす多民族国家で、その 7 割近くを占めるのはビルマ族です。物語「ビルマの豎琴」は日本の支援を受けてイギリスの植民地支配から解放された「ビルマ国」での架空の物語ですが、ミャンマー滞在中にはこれが実話に基づいているのではないかと錯覚するようなことも多々ありました。

ミャンマーという呼び名は、ビルマという名に馴染んだ世代には少し違和感があります。1989



筆者改変によるミャンマー（ビルマ）関連地図。---→はヤンゴン－ダナン間の東西経済回廊

年の軍事政権は国の呼称をビルマ族だけでなく他民族を含む意味でミャンマーとしたとありますが、ビルマ（口語体）とミャンマー（文語体）はどちらもビルマ族を指す言葉という専門家の意見もあるために今もビルマと呼んでいる国もあり、ガイドブックにはミャンマー（ビルマ）と両表記されたものもあります。日本はいち早くミャンマーの表記を採用しています。

ミャンマーの国土面積は日本の約 1.8 倍あり、国民 5,280 万人の約 9 割は上座部仏教徒で、2016 年にはアウン・サン・スーチー女史率いる民主政権が半世紀ぶりに誕生しました。日本は民主的な国づくりに官民挙げて支援し、2017 年には初めての青年海外協力隊員が派遣されました。

ヤンゴンでは日本大使館よりミャンマー情勢やロヒンギャ難民問題への日本の姿勢などを学び、JICA（国際協力機構）事務所の対ミャンマー協力プロジェクトの現場訪問や派遣された海外協力隊員との懇親会など、とても有意義な時間を持ったのち、ミャンマー中部にあるイワラジ川に沿って 11 世紀にビルマ族による初めての統一王朝（パガン朝）として建設された王都パガン（現パガン）へプロペラ機で向いました。低空で北上する機内からの眼下には赤茶けた大地に寺院やパゴダ（仏塔）が点在し、パガンには 2,000 を超える仏塔寺院群が 700 年を経た今も世界三大仏教遺跡としてあります。パガンは「ビルマの竖琴」の水島上等兵の心情が溶け込むような聖なるところでした。

太平洋戦争で最も無謀と言われ、失敗した「インパール作戦」の中止後にビルマに向けて撤退する兵士の多くが、険しい山道やジャン

グルでマラリア、アメーバ赤痢や餓えで死亡し、作戦全死者の 6 割が撤退中だったという悲劇がありました。特にビルマのタムーからチンドウィン川に至る撤退道は死屍累々となり、雨期で数日のうちに白骨化して「白骨街道」とも呼ばれました。イワラジ川の傍らではアラカン山脈の北にあるインパールに向かって深く頭を下げ、バガンで最も高い大伽藍（61m）を持つタビニュー寺院の



ミャンマー（ビルマ）の竖琴（バガン）



イワラジ川からインパール方向を望む（バガン）

僧院にある慰霊碑前では戦死者への黙祷を捧げました。多くの兵士がイワラジ川会戦で亡くなったというバガンの地は「ビルマの竖琴」が単なる架空の物語ではなく、悲惨な戦史から生まれたものではと思わせる場所でした。

赤茶けた大地に立つパゴダを一つ、また一つと浮かび上がらせる朝日と暗闇に返していく夕日は仏教聖地バガンならではの荘厳で感動的なショーを演じています。JICA ではバガンをモデルとしてミャンマーのホテル観光省とともに観光開発にも取り組んでおり、JICA が整備した朝日・夕日鑑賞スポットは大勢の内外の観光客でにぎわい、過去や現在の出来事を忘れさせ、未来に希望を持たせる平和な空間となっていました。

ミャンマーの 2017 年健康指標では 5 歳未満の死亡率（出生千対）は 48.6、乳児死亡率（出生千対）は 38.5、妊産婦死亡率（出生 10 万対）は 178 で、平均寿命は男性 64.4 歳、女性 69.1 歳とされ高齢化率は 6% です。死因としては 20% が感染症、70% が非感染症で 10% が事故によるものとあり、医師数は人口 1 万人当たり 5.4 人と日本の 1/4 です。このような状況での JICA 保健医療支援には医学教育強化プロジェクトをはじめとして、少数民族地域での中核病院整備、ヤンゴン市内総合病院医療器材整備やマラリア排除モデル構築などの案件が、新生ミャンマーの保健医療を向上させたものと期待されています。また、持続的に経済を成長させるための道路整備も進み、ヤンゴン市内には 4 車線のドーボン橋が日本・ミャンマー友好橋として 2018 年 8 月に竣工しています。JICA には未来に続く道づくりとして「東南アジア回廊構想」があり、その一つの「東西経済回廊」はすでにベトナム中部のダナンからラオス国境付近に進んでいる工事現場を昨年のベトナム訪問で間近に見ました。いつの日かヤンゴンからのルートとドッキングし、回廊で東南



朝日に浮かび上がるパゴダと観光熱気球（バガン）

アジアの国々が一つにつながった時には、「ビルマの竖琴」も遠い昔の話として語り継がれることでしょう。日本との過去の歴史にこだわらない新生ミャンマーの若者の心意気に、東南アジアの発展や民族平和が訪れる事を仏教聖地ミャンマーで強く願った有意義なツアーでした。

参考図書・資料

1. 在ミャンマー大使館・JICA 提供資料
2. 「ビルマの竖琴」竹山道雄 新潮社
3. 戦慄の記録「インパール」
NHK スペシャル取材班 岩波書店
4. 「チンドウィン川紀行
—インパール作戦の残像—」

森田勇造 三和書籍

俳句ギャラリー

ふしの句会（山口市医師会）

屋根越えてすいと消えゆく蜚かな
 古寺の鐘の音まで梅雨じめり
 荒御輿千手を離れ宙に舞ふ

坂本 強

水馬^{あめんぼう}お堀を水上パトロール
 静けさや池いつぱいの燕子花^{かきつばた}
 若楓揺らす風までさみどりに

佐々木映子

緑陰に寝そべる猫の唯物論
 緑陰や老犬律儀に角止まる
 万緑や四方に力の満ちる朝

末兼 浩史

夏めくや鴨川の飛石を越え
 井筒屋を抜ける小休^{かきつばた}かき氷
 文机^ふに置くや走りの杜若

杉山 元治

夏めくや早瀬砕けてしぶき舞ふ
 をさな児の引く手速しや若楓
 鯉のぼりじいじも共に泳ぎたし

成重 隆博

小さきもの溢れし馬場に夏の風
 背を割りて翔ぶ予感かな天道虫^と
 望月は欠けるを知りてそこにおり

淵上 泰敬

小さき手に束の間休む初螢
 夏めいて一木一草急成長
 陣痛の始まりし日や半夏生

今村 孝子

なぜ此处に 第 3 話

徳山 吉次 興茲

この写真は『山口県医師会報』平成 29・30 年の 1 月号「炉辺談話」に載せたものです。国道 375 号沿いを走ると、バス停にあるベンチの下に女もののパンプスが置いてありました。ブルーの上品な靴でしたが、型崩れもなく、とても捨てていったようには見えず、いったい誰が、どうして置いていったのでしょうか。取りに来られない理由とは。

あなたはこの靴で、どんな物語を想像されますか。



「先生、院長先生がお呼びです」
思い当たることもないまま院長室をノックした。
「まあ、おかけください。仕事の調子はいかがですか」
「はあ、入院患者さんの状態も安定していますし、特に何も…」
「これを見てください、患者さんから送られてきたものです」
そう言うと院長は一通の手紙を差し出した。

それは先日、外来診察した患者さん家族からの投書で、その患者さんは生まれつき外耳のない、いわゆる小耳症と呼ばれる疾患の子だった。ある程度成長したらその子の肋軟骨を採取して、おおよそその耳介軟骨を作成して側頭部に埋めこみ、時期が来たらそれを一部側頭部に付着させて上部を側頭部から剥離して持ち上げて耳の形をつくる造耳術を詳しく説明した。

黙って聞いていた家族は恐る恐る聞いた。
「先生、耳は聞こえるようになりますか？」
「鼓膜がないので耳は聞こえるようにはなりま

せん」
しばらくの沈黙の後、頭を下げた。帰っていった。

その患者さん家族からの手紙には対応が冷たすぎることが書かれていた。

「医学は科学です。正しく事実と治療を伝えることはとても大切なことです。しかし患者さんは人間です。事実を伝えることと、患者さんのお気持ち・心情をおもんばかってあげてください」

「申し訳ありませんでした」
無然とした思いで帰室しながら呟いた。
『家族が事実を認識して患者さんに接することが一番大切なんだ。この子は長い一生、この事実を背負っていくことになるんだ。この子にはうわべの同情なんてなんの助けにもならない。家族も覚悟が必要なんだ』

*

*

私が 5 歳の時、妹が生まれ、『夢』と名付けられた。820 グラム・27 週だった。軽度の脳性小児まひを患って半年後に退院した。

「生きて帰ってきただけでも嬉しい」
泣きながらおばあちゃんは夢の頭を撫でた。

それからわが家の生活は一変した。母親の時間はすべて妹のために費やされた。

最初のころは家族も親戚も『夢、夢』と大騒ぎをした。しかし、一年半たっても発語は無く、ハイハイもできなかった。仕方ないことだとはわかってはいたが、私の小学一年生の入学式は、夢の診察日と重なって母親は来られなかったし、父は仕事で出張中だった。おばあちゃんが来てくれたが『あの子の妹は生まれつきの病気で母親は来られないんだって、可哀そうに』。教室の後ろであわれみの声は私に届いた。

「お兄ちゃんでしょう、我慢して」

何かにつけての母親の口癖だ。一人っ子だった 5 年間は何でも自分のためだけにしてくれた母親が今は他人のように遠い人になっていた。あれほど夢のことを気にかけていたおばあちゃんが亡くなると、親戚も夢のことは忘れてしまったように口に出さなくなった。

一生懸命に世話をしていた母親はだんだんと疲れが溜まっていった。

3 歳になった夢はまだ 10kg に満たないうえ、うまく歩けなかったから時々私がおんぶして庭を散歩した。『あぁたん。あぁたん』と言って嬉しそうにはしゃいだ。5 歳になってやっと一人で歩けるようになったが、とても覚束なげにふらふらした。靴を買ってもらった日に夢を近くのバス停に連れて行った。母親と通院するバスを見せてやりたかったのだ。1 時間に一本しか来ないバスがしばらく待ってやっと来た。大はしゃぎで乗ろうとする夢を慌てて止めた。

『どうすて、どうすて』理由が分からず夢は泣き出した。バス停のベンチに座って動こうとしない夢を背負ってゆっくり歩いて帰った。『あぁたんのバカ』と言いながら寝てしまった。少し重たくなっているのがなんだか嬉しかった。

早生まれの夢は 2 年遅れて小学生になった。母親が自転車で送り迎えをした。同じ年に私は中学生になり、父親は会社の都合で隣県の支店に転勤になった。栄転するか、会社を辞めるかの選択に家族中が悩んだ。しかし、今の夢を含めた生活

を維持していくには転勤するしかなかった。何かにつけて家の手助けをしてくれていた父親もいなくなり、すべては母親と私の手にゆだねられる。当然のごとく私は帰宅部。放課後、みんなが楽しそうにサッカーをしていても、自転車をこいで急いで帰った。友達が休み時間にゲームの話をしていてもアイドルの話に笑い声が聞こえても関係ない世界だった。事情を知っているクラスメートからはいじめこそ受けなかったが、私は誰にも相手をされない存在となった。ほとんど学校の記憶のない 3 年間だった。夢も何とか 6 年間で過ごしたが軽い吃音と跛行は残っていた。

問題は中学校だった。夢が一人でバス通学になる。春休みに何度も二人でバスに乗って練習した。

「ここが夢のバスに乗るところ、靴を買ってもらったとき一緒に来ただろう」

「そ、そうなん？」

「あれだけ喜んでいたので忘れたんだ」

「う～ん、ゆめ、忘れたかな。お靴のバスに乗るところ」

「それから、あの信号は青色の時だけ渡っていいんだよ。黄色や赤は渡っちゃあだめだよ」

「うん。大好きな青の時。青色さんだけ」

朝は母親がバス停まで連れて行き、着いたバス停からはそう遠くない中学校までの登下校は友達と歩いて、帰りは母親がバス停まで迎えにでた。幸い、知能の遅れは目立つほどではなかったので授業にもついていっているように見えた。しかし何事をするにも時間がかかった。朝から日課表をにらんで一緒に教科書や参考書をそろえるのは私の役目になった。宿題を見てやった後、私は自分の勉強をした。夢のために私の成績が悪いと言われると、夢が可哀そうなので意地でも頑張っていた。授業中に何とか理解をしようと必死になった。

そして 2 年生の夏休みが過ぎ 2 学期が始まろうとした時に母親が過労で倒れた。特に入院するほどひどくはなかったが、それでも十分な栄養と睡眠をとるようにと医師からきつく注意をされた。幸運にもその年の 4 月から本社に帰っていた父が母親の代わりをするようになり、当然のように私の雑用も増えた。

「夢、もしもお父さんやお母さん、そして僕が死んだら夢は一人で生きていかなければならないんだ。だから今から少しづつ自分のことは自分で出来るようになるう」

「ゆめ、わかったよ。頑張る」

「じゃあ、今日から宿題、一人でやろうね、それから学校の準備も」

「え～今日から一人で～。できるかなあ。3年生からじゃだめ？」

「だめだよ、甘えちゃあ」

「……」

当然宿題は半分出来ればいい方だし、忘れ物も増えた。学校からの注意も増した。不憫に思って母親が少し手伝うこともあったが、悪戦苦闘を繰り返した。

「ゆめ、もう出来ない。あぁたん、手伝って」
あと1日になっても3年生の夏休みの宿題が終わらなかった。

「夢、頑張るって約束しただろ。一人になったら誰も助けてくれないよ」

「今は、あぁたんがいる」

「だから、将来、夢がひとりに」

「いや、ゆめ、学校に行きたくない。行かない」

「だめだよ」

「いやあ、行かない。みんながゆめのこと馬鹿にする。出来ん子、出来ん子、ってゆう」
泣きじゃくりながら大声で叫んだ。時に制服を汚してくるのも忘れ物をしてくるのも、友達からいたずらされていたのだ。

知らなかった。夢が学校でからかわれていたり、軽いいじめにあっていたことなんか。周りの大人も見てもないふりをしていたのだ。学校からの通知にもなかった。学校が受け入れてくれるって母親からは聞いていた。夢も何も言わなかった。

たった一人の妹だから、病気の妹だからずっと我慢してきた。遊びたいことも逃げ出したいことも諦めて頑張った。

「お兄ちゃん、よく頑張ってるね。よく妹さんの面倒を見ているね」

そういつてくれる周囲もわかって受け入れてくれていると思っていた。でも違った。そんなに甘く

はなかった。上辺だけ、上っ面だけ、憐れんで私にお愛想言っていたんだ。

「悟、それが世間だ、これでもいい方だ。彼らはいじめとも思わないでやっている」

ぼそっと父親が言った。

休み休み、それでも夢は高校まで卒業した。思ったよりも症状は軽くなっていた。私は県内の大学に通学していた。

夢は父親の伝手で小さな会社に障害者枠で入れることになった。出勤が近づいたある日、お祝いにみんなで隣町のデパートに出向き、最初の通勤服を探した。

「ゆめ、好きな青の服がいい」

探してきたのは青地に細い白のストライプが入ったワンピースだった。

「帽子はえんじに、靴も青がいいな」

「その靴ちょっと地味じゃあないの。でも、そうね、確かにヒールは低い方がいいよね」
嬉しそうに荷物を抱えながら4人で屋上のレストランに上がり、お祝いをした。

家に帰ったのは夕日が沈もうとする頃になり空が茜色に輝いていた。

ホッと一息ついたとき

「あぁたん、似合う？バス停まで行ってみる」
買った服に着替え、ちょっと照れ臭げに言うといそいそと出て行った。もう跛行は目立たなかった。

遠くで救急車の音が聞こえた。遅いな、ふと嫌な気がして、バス停まで、歩いてみた。

「無免許の馬鹿モンが信号無視したらしい」

血に染まった青のワンピースが投げだされていた。

「父さん、その靴いいかな」

幸い血が付かなかった靴をお棺の中に入れようとした父親から受け取った。

その三日後

「夢、今日が出勤日だね」

バス停のベンチの下にそっと靴を置いた。

走り続けて 25 年

萩市 売豆紀 雅昭

娘のマラソン練習に付き合っ走り始めてから 25 年が経ちました。当時、練習した成果を確かめたくて参加した「萩市民健康マラソン大会」(現在の「萩城下町マラソン大会」) 3km の部で、13 人中 12 位と散々な成績だったのが走り始めるきっかけになりました。そして、練習を続けた結果、翌年は何とか 6 位入賞を果たし、練習をすればそれなりの成果が得られることを実感、以来、モチベーションを保ち続けてきました。

最初の頃は 5 ～ 10km の大会に出場するくらいでしたが、徐々に 20km ～ ハーフマラソンと距離を伸ばしていきました。ただ、ハーフマラソンでも苦しんでいたのも、フルマラソンは絶対に

無理と思っていました。しかし、ある時、先輩にフルマラソンをどうすれば完走できるか尋ねたところ、月に 300km 走れば何とかできると教えて頂きました。これなら何とかいけそうだと 350km くらい練習して、1996 年、47 歳の時に「2000 年のシドニーオリンピックのマラソンコースを走ろう」のキャッチフレーズに乗せられ、盆休み中の大会ということもあって家族旅行を兼ねてシドニーへ行きました。初マラソンということで、目標を“歩かずに走り切る”としてスタートしました。シドニーは冬でしたが、レース後半は日差しが強くなり脱水気味となりました。それでも何とか目標を達成し、3 時間 32 分 18 秒でフィニッシュできました。

これでフルマラソンに対する不安がなくなり、いろいろな大会に参加するようになりました。初めてのサブスリー(3 時間切り)は 3 年後の 1999 年で、50 歳になっていましたが「福知山マラソン」を 2 時間 58 分 39 秒で走り切りました。サブスリーはその後 4 回達成しましたが、ベストタイムは「泉州国際市民マラソン」の 2 時間 58 分 33 秒です。60 歳までは初マラソンを除き何とか 3 時間 30 分を切っていたのですが、還暦を過ぎてからは超えることが多くなり、65 歳過ぎからは 3 時間 30 分を切ることが難しく、年齢を痛感しています。それでも何とか走り続け、今年の「東京マラソン」で 100 回目の完走を達成することができました(写真①)。塵も積もれば山となる、を実感した瞬間でした。

フルマラソン以上の距離を走るウルトラマラソンは、1999 年の「山口 100 萩往還マラニック」70km が最初で、この時は 7 時間 16 分 34 秒で 2 位になりました。2001 年には同じ大会の 140km にチャレンジしましたが、筋肉痛のた



写真① 東京マラソンのゴール後、家内と



写真② 四万十川ウルトラマラソンのゴール後

め残念ながら 60km で棄権しています。翌 2002 年に初めて 100km のウルトラマラソン「天体界道 100km にちなんおろちマラソン全国大会」(鳥取)に出場、“歩かずに走り切る”“5 分 30 秒 /km でゴールする”を目標にスタートしましたが後者

は叶いませんでした。この大会の後、決意も新たに 1 年間毎日 10km 以上を走り続け、翌年はいくつか 9 時間を切ることができました。また、その年の「四万十川ウルトラマラソン」では 8 時間 38 分台の自己ベストを出すことができました(写真②)。



写真③ 富士登山競走の山頂で

100km 完走を達成すると、次は 250km にチャレンジしたくなり、2005 年「山口 100 萩往還マラニック大会」250km に出場しました。しかし、力不足で 100km であえなく轟沈してしまいました。その後もチャレンジを続け、2008 年、58 歳の時にようやく 34 時間 16 分 58 秒で完踏(この大会では完走とは言いません)することができました。

アマチュアランナーにもテニスやゴルフ同様、グランドスラムというのがあります。1) フルマラソンをサブスリーで完走する、2) 100km ウルトラマラソンをサブテンで完走する、3) 「富士登山競走大会」を麓の富士吉田市役所から山頂まで 4 時間 30 分以内で登り切る、の 3 つです。これをクリアするために最後の関門である「富士登山競走大会」にチャレンジしました。2009 年から挑み続け、2011 年漸く山頂へ到達することができ(写真③)、晴れてグランドスラムの仲間入りを果たしました。この時の感激は今でも忘

られません。テニスやゴルフは4大会なので、私は勝手に 250km 完走を加えてグランドスラムにしています。なお、グランドスラムについては、宇部のH浦先生は私よりも早く、また全てにおいて素晴らしい成績で達成しておられます。

グランドスラムとフル 100 回完走を達成した現在、新たな目標は 47 都道府県でフルマラソンを完走することと、できるだけサブフォーを維持することです。フルマラソンがない県もあるので現時点では困難ですが、私が走れるうちに何とか開催されないかな、などと勝手に願っています。サブフォーの維持については、古希となった現在、筋力や持久力の低下が目に見えて進んでおり、4 時間超えは時間の問題となっていますが、1 レースでも先伸ばしにできればと日々努力しています。

最後になりますが、レースに出る際の絶対に守らなければならないルールとして、“翌日の診療に穴をあけない” というのがあります。大会に出始めたころは、一人で車に乗って南は鹿児島島の出水市から東は兵庫県の篠山市や福知山市まで、土曜日の午前中の診療を終えて 5 ～ 6 時間かけて行って、翌日帰ってくるという強行軍でした。10 年ほどして、子育ての終わった妻がレースの度に日本中をサポートとして帯同し、支えてく

れるようになりました。お蔭でこの大原則は今でも守れており、妻には心から感謝しています。これからも二人三脚で新たな目標の達成に向けて頑張っていきたいと思っています。

＜これまでの成績＞

総レース数（1995/1 ～ 2019/5） 307 大会

250 km（11 大会）

山口 100 萩往還マラニック

8 回（完走 4 回）ベスト 34 時間 16 分 58 秒

さくら道国際ネイチャーラン

3 回（完走 1 回） 30 時間 26 分

140 km

山口 100 萩往還マラニック

3 回（完走 2 回）ベスト 16 時間 10 分 54 秒

100 km

34 大会（完走 30 大会）

ベスト 8 時間 38 分 06 秒

フル

103 大会（完走 101 回）

ベスト 2 時間 58 分 33 秒

ワースト 3 時間 57 分 03 秒



3 つは同根

玖珂 八木 謙

ガリレイ博士は産科学の大家である。シムプリシオ医師は法律に造詣が深い。

ガリレイ(以下「G」) 3 つは同根だと思っている。シムプリシオ(以下「S」) ほう、何だいその3つとは。

G ①看護師による子宮がん検診問題、②助産師による会陰切開局所麻酔縫合問題、③看護師による内診問題、この3つだ。3種それぞれ違った問題のように映るが問題の根は1つ、それは医師法下にあるかないかということ、これだけである。

S ふうん、1つずつ説明して貰おうか。

G まず、看護師による子宮がん検診問題について。

先の国会答弁で「看護師は医師の指導下であれば、腔内から細胞を採取できるか」という質問に対し厚生労働省は以下の回答をした。「医師の指示下で子宮頸がん検査のために腔内から細胞採取を施行することは診療の補助に該当し、看護師が当該行為を業として行うことは可能である」と考える」

S うん、真っ当な回答だな。

G そう、この文章は正しい。法的に正しい。しかし、正確を期するなら「医師法下においてなら可」としなくてはならなかった。医師法下でない場合は、この看護師の行為は違法なのである。

S なるほど。

G 具体的に言うと、医師が同席している検診バスの中で医師の指示の下、看護師が細胞採取をするのなら合法である。これは厚生労働省の回答と同じ。しかし、医師がバスに乗っておらず、看護師単独で細胞採取を施行することは違法である。この場所は医師法下でない。医師の行う診療が存在しない場所で看護師が行う診療の補

助が単独で存在することはありえない。

S 医師の指示があってもか？

G ここでの医師の指示というのは、具体的な指示なのか包括的な指示なのかが問題になってくる。包括的な指示というのは「おまえ、バスに乗ってがん検診して来ていい」という許可だ。これはがん検診の丸投げになる。この場合、この検診は医師の責任下でない。こうした医療行為は許されていない。医療行為は(看護師の行う医療の補助も含めて)医師の責任である。医師の責任下にあるということが医師法下にあるということになる。

S 具体的な指示の下と言わなくてはならないところを、包括的な指示の下でも可と解釈してしまった。その為、看護師が単独で子宮がん検診をしていいという解釈がひとり歩きしているということだな。

G そういう事だ。通常の外来診療を考えてみよう。注射薬の種類、量、投与法を決めるのは医師、実際に患者に注射するのは看護師である。前者が医師の行う医療行為であり後者が看護師の行う医療の補助である。病室もその延長で、医師が病室まで付き添わなくても医師の指示で何々という薬剤を何 mg 注射しろという指示がでていればよい。またまたその延長上で患者の自宅での医療行為、医師が同席しなくとも医師がその患者の病状を把握しており、その上で薬剤何々を何 mg 注射しろという指示を看護師に与えていた場合、看護師単独で患者の自宅に行き注射してくるのは合法である。この場合、医師がいなくてもこの患者の家は医師法下にある。だが、看護師に包括的指示を与え、その村を一回りして風邪の患者がいたら薬を置いていいという指示は不可だ。その村の各家は医師の

把握下でない、つまり医師法下でない。

外来診療でも医師が海外旅行に行っている間、看護師に「風邪の患者が来たら診て薬を出しておけ」という包括的指示は出せないだろう。医師が不在の場合は休診にしなければならない。そんなことは中学生でも分かる。不特定多数の人間を扱うバスでのがん検診ではそこが医師法下にあるかないかが問題になる。

S うん、分かった。では 2 つ目は

G 2 つ目は助産師による会陰切開局所麻酔縫合問題。

これは法的に許されるか。これも医師法下であれば可である。医師が側に付いてて、具体的な指示を出すのだったら合法だ。医師法下になれば、つまり助産所で助産師が分娩を扱う場合は切開局麻酔縫合という行為は医療行為であるから助産師が行うことはできない。しかし、医療機関内で医師の指示の下に行うならこれは診療の補助と看做することができる。診療の補助なのだから助産師にやらせても看護師にやらせてもよい。

S ちょっと待て。助産師だけでなく、看護師にもやらせていいと言うのか。

G 真理に迫ってきたな。その通りだ。医療機関内では助産師と看護師は法的に同値だ。

S 何言ってるんだ。助産師と看護師は全く別なものだぜ。それを法的には同じだなんて。おまえ酔っぱらってんじゃないか。

G 何ィ、オレは酒飲んでない時はシラフだ。

S じゃあ言ってることがおかしいじゃないか。助産師と看護師はまったく違うぜ。

G 医療機関外ではそうだ。だが医療機関内ではそうではない。医療機関内で助産師が行う業は助産師法下の助産ではない。ここで助産師が行うのは医師の指示の下での医療の補助である。だから看護師と一緒に。ここは助産師法が通用しない場所である。助産師単独の分娩の取り扱いここではできない。

S 医師の指示があればいいのだな。

G そうだ。だが包括的な指示ではだめだ。包括的な指示というのは丸投げということになる。丸投げした医師はこの分娩には責任を取らない

ということだ。だから医師が責任を取るためには具体的な指示下でなくてはならない。医師が責任を取るということは医師法下にあるということだ。

S 具体的な指示を与えるとはどういうことになる？

G 医師が側に付いてて、その部位を切開しろ、局麻剤何々を何 CC 注射しろ、ここをピンセットでつまみ、ここから針を入れてここに出し、どのくらいの力で縫合しろと具体的な指示を出す。そして助産師や看護師がその指示に従ってその業を行う。これなら法的に可である。しかし、そんなことするくらいなら自分で切開し縫合する方が早い。医師がお産の現場に立ち会わない場合に助産師による会陰切開局所麻酔縫合という考えがでてくるのだが、その場合、その場所は医師法下でない。医師法下でない場所で助産師単独で医療行為を行うのは違法である。

S だが、厚生労働省は院内助産所というものを推奨して、医療機関内で助産師単独の助産を認めているぜ。

G 院内助産所は保健所から助産所の認可を受けていない。そこでは助産師法下の助産は扱えない。院内助産所は法構造上誤っている。

S オレ達医者にとって厚生労働省の通達は法だ。

G そんなに卑屈にならなくたって、精神はもっと自由でいいんじゃないか。

S 君は自由すぎるんだ。この間だって、地動説とか言って、この大地が動いて、太陽は静止していて、大地が太陽のまわりをぐるぐるまわってるなんていう説をぶちまけて、宗教裁判にかけられ有罪判決を受けたばかりじゃないか。少しは自重しろ！

G 「……」

S それはいいとして、3 つ目の看護師の内診問題についてはどう思ってるんだ。

G これも厚生労働省に逆らうような言い方になると思うんだけど聞かないか。

S 言ってみろ。

G あれは違法ではないさ。医師の指示下で行ったことだもの。そこは医師法下にある。

S だが、厚生労働省は違法と言っている。

G 何法に違反するんだ。あれを違法とする法が日本に存在するのか。

S 保健師助産師看護師法に違反する。助産師でなければ助産という業を行ってはならないという法だ。

G その法の後半に医師法下ではその限りではないという一文が入っている。つまり、医師法下では助産師法のこの一文は効力を発しない。

S と言うと。

G 医師法下では助産師法のあの法文は守らなくていいという事だ。

S そうなのか。

G 道路交通法に例えてみれば、業務執行中のパトカーや救急車は道路交通法違反は適用されない。彼らは道路交通法の枠外にいるんだ。医師も同様で、医業を執行中の医師は助産師法の枠外にいる。看護師も同様に医師法下で医療の補助に当たっている時は助産師法の枠外にいる。

S よく分からない。何だかごまかされている気分だ。

G 医師は助産師法の枠外にいるのだから医師が助産師法を犯したとして告発されるのは論理的におかしい。警察・検察は看護師に内診させた医師を逮捕し送検した。ほとんどは罰金刑という刑が確定した。しかし、中には起訴を取り下げる代わりに病院の閉鎖と老院長の医師免許返納を求め、そうなった。事実上の刑の執行だ。

S うーん、もし看護師の内診の違法性が証明されていないのなら、これら一連の事件で医師を検挙送検した警察・検察はとんでもない愚挙を犯したことになるが。

G 主よ、彼らをお許し下さい。彼らは自分が何をしているのか分かっていないのです。

S おまえはキリストか。

G キリストじゃないけど。ニーチェは言った。女における一切は謎である。しかも女における一切はただ一つの答えで解ける。答えはすなわち妊娠である。

S 何の関係があるんだ？

G 理論はシンプルの方がいいってことさ。

S オッカムの剃刀って事だな。

G そうだ、オッカムの剃刀だ。理論はシンプルの方がいい。①看護師によるがん検診問題、②助産師による会陰切開局所麻酔縫合問題、③看護師内診問題、この3つは1つの解で解ける。それは医師法下であれば可という解である。どうだ、シンプルだろう。

S シンプルだけど。でもそれは君の単なる仮説だろう。

G そうだ、仮説だ。

S 本人がそう自覚してるのなら、まあいいか。議論してたら喉が渴いたな。居酒屋でも行くか。

G うん、行こう。



端（はし・さきっぽ） その 15

徳山 若林 信生

今回は沖縄本島や離島の端を訪ねたので、それらを紹介しましょう。

沖縄本島の南端にあるのが、糸満市の喜屋武岬^{きやんみさき}である。しかしながら最南端はすぐ東側にみえる荒崎^{あらさき}である。この辺りは 10 ～ 30m の断崖が続く所で、第二次世界大戦の沖縄戦ではこの一帯が最も激戦地であり、米軍に追われて多くの軍人や民間人が戦死・自害した場所でもある。

太平洋に面した石灰岩の大地で、エメラルドグリーンサンゴ礁の浅瀬と沖の紺碧のきれいな海があり、また、のどかな田舎のサトウキビ畑のある田園風景であるが、過去に悲惨な、非人道的な悲しい出来事があったとは考え難い美しい風景である。

この地方で死亡した一万余柱の大勢の戦争犠牲者の慰霊のために、昭和 44 年“平和の塔”が建設された。

サンゴ礁の海を背景に青い“平和の塔”が大変美しいが、この塔の後ろの崖との僅かの隙間に 30 ～ 40 cm の小さな石に彫った仏像だったかお地蔵さんだったか失念したが、一つ目立たないように置かれていたのには感動した。この様に日本人なら忘れてはならない場所なのに、知名度も低く、訪れる人も少なく寂しい限りである。

沖縄南部を回る国道 331 号線を外れると道は急に狭くなり、喜屋武岬周辺は車の行き違いも困難な狭路もある。対向車が来ないかと注意をしながら行くと、喜屋武岬園地の平和之塔の前の駐車場に着く。そこには平和之塔、展望所、トイレがあり、その少し先には喜屋武岬^{きやんみさき}灯台がある。灯台はコンクリート製、白亜、円塔形、高さ 15 m、初点灯は昭和 47 年で周囲は藪であり“はぶに注意”の立て看板がある。とてもではないが藪に入って灯台を撮影する勇気はない。

近くには大勢の観光客で賑わう“ひめゆりの塔”があるが、こちら喜屋武岬も注目してほしい、また、忘れてはならない場所である。



喜屋武岬 平和の塔

沖縄中部の読谷村^{よみたんそん}の東シナ海に突き出た岬が残波岬^{ざんぱみさき}である。岬の周辺は約 30m の断崖絶壁が約 2 km にわたって続き、遊具やよく整備された散策コースがある立派な“残波岬公園”となっている。突端には残波岬^{ざんぱみさき}灯台が崖の上に

そびえ建っている。灯台はコンクリート製、白亜の塔型、円形で高さは 31m、初点灯は昭和 49 年である。沖縄県では最も高い灯台で、上まで登れる参観灯台でもある。ちなみに沖縄では他に宮古島の東平安名岬にある平安名崎灯台が参観灯台である。灯台の上からの 360 度見渡せる風景は素晴らしい。断崖絶壁や東シナ海に浮かぶ島々、真っ白いビーチと海の色、絶景である。大きなリゾートホテルがあるのも頷ける。

この辺りはサンゴ礁が隆起したもので、遊歩道以外はゴツゴツしたデコボコが激しい岩場が続いている。

公園内には沖縄で一番大きいシーサー像や読谷村出身の商売の神様と言われる“泰明”の像も見られる。

那覇空港から西へ約 1 時間の飛行で石垣空港へ着く。以前来たときは空港も小さく古かったが、今回は場所も変わり、大きな立派な空港へと変身していた。

沖縄の先島諸島の島を訪ねるのにはこの石垣島を本拠地とすれば良い。ここに連泊し、西表島、竹富島、小浜島などや日本最西端の与那国島、最南端の波照間島などを比較的簡単に回ることが出来る。特に、令和元年 6 月現在、午前中に岩国空港から那覇空港までの直行便があり、その日のうちにさらに石垣空港まで容易に行くことが出来る。また石垣空港ばかりではなく、日の入りの遅い夏場は夕方の明るいうちにさらに与那国空港



残波崎灯台と泰明像

まで行く事が出来て、午前中に家を出ればその日のうちに日本最西端の与那国島の西崎で日本最後の日の入りをすることが出来る。これは皆さんにお勧めしたいコースである。

石垣島は沖縄の離島では 2 番目に大きい島であるが、それでも一日で全島を廻ろうと思えば廻れなくもない。この石垣島の最北端が平久保崎である。島の北東に細長い半島を形成している。国道 390 号線もこの半島の根元までで、そこから北側は県道 206 号線である。



石垣島最北端 平久保崎

先端近くは狭いところもあるが道路は舗装されていてよい。駐車場はせいぜい 10 台が停められるかどうかで、人気のある景勝地としては狭すぎる。駐車場にはトイレと自販機があるのみで、ここから舗装された坂道を登ればすぐに平久保埼灯台が眼前にある。周囲はサンゴ礁であり、エメラルドグリーン^{ひらくぼさき}のサンゴ礁の浅瀬に囲まれたなかに白い灯台が建っている風景は素晴らしい。沖縄全体としても、最も絵になる風景の一つではあるまいか。

平久保埼の右手は太平洋、左手は東シナ海である。さすがに石垣島では川平湾^{かわらわん}と並んで第一の観光スポットであるまいか。灯台は白亜、円筒形、高さ 14m、コンクリート製、初点灯は昭和 40 年である。

石垣島の北西にある屋良部半島の西の端が石垣御神崎^{いしがき おがんざき}である。オガンサキまたはウガンサキとも読む。石垣市の中心部から県道 79 号線を北上し、屋良部半島を西に進む。御神崎の標識もあるので迷うことは少ない。道なりに行けば行き止まりの駐車場に着く。駐車場周辺にはトイレと自販機があるのみで、駐車場は約 10 台停められるが大きくはない。あまり有名な所でもないし訪れる人も多くないのでこれで良いのかもしれない。しかし、夕日がきれいとの評判はある。そのために夕方にはかなり混むとの話もある。駐車場の直ぐ先の高台に白い石垣御神崎灯台^{いしがき おがんざきとうだい}が見える。

また、この岬の沖で昭和 27 年 12 月に那覇港から石垣港に向かっていた八重山丸が遭難沈没し、死者・行方不明者合わせて 35 人を出した遭難者の慰霊碑と観音像も建っている。

灯台は白亜、円塔形、コンクリート製、タイル張りで、高さは約 17m、初点灯は昭和 58 年である。砲台のような高台に建っているので、とても見栄えが良い。

石垣島の中心街から西側の海岸沿いを約 5 km 北へ向かうと西表島方面に突き出したところに琉球観音崎^{りゅうきゅうかんのんざき}はある。ここに行くには、あまり有名ではない観音崎を目指すよりは有名な「唐人墓」や「物産センター石垣島」を目標にした方が分かりやすい。けばけばしい色をした中国風の廟があり、訪れる人も結構多い。また、「物産センター石垣島」では黒糖を作っている。まだ精製していない本当の黒糖が手に入る。この唐人墓の道路を隔てた海岸が観音崎である。駐車場は狭く、2～3 台しか停められない。しかしながら、道路を隔てた所に「物産センター石垣島」と「唐人墓」合同の観光客用の駐車場があるのでそちらに停めればよい。観音崎の駐車場からすぐに東屋があり、その横の坂道を上がれば白い、四角形、コンクリート製、高さ 11m、昭和 47 年初点灯の琉球観音崎灯台^{りゅうきゅうかんのんざきとうだい}がある。突端には展望デッキもある。ここは西側に面しているので西表島や竹富島などが見え、夕日がとてもきれいとの事である。

沖縄の離島を訪ねるのには“石垣島を拠点にしたら良い”と前述したが、市街地の港に新しく大きくなった“石垣港離島センター”があり、ここからアチコチに日帰りの観光船等が出ている。西表島のマングローブの森、海を牛車に乗って渡る由布島、牛車で古い街並みを行く竹富島や小浜島など行くところは多い。また、マリンスポーツも盛んで、その種類も多く、スキューバダイビングでは季節によっては“マンタ”に会えるそうである。日本最南端の波照間島や最西端の与那国島など離島を訪ねるのもよし、ゆっくりくつろぐのもよし、またマリンスポーツを楽しむのもよし、石垣島は山口県から容易に行けるお勧めの島である。

私がハマったもの

光市 広田 修

子供達が進学その他で家を離れたため、家の中を片付けています。すると昔集めたいろいろな物が出てきました。そこで今回、今までにハマったものを思い起こしてみることにしました。同年代（昭和 40 年：1965 年生まれ）の方には懐かしい名称が出てくると思います。

最初に集めたのは「牛乳瓶のふた」でした。小学校 3 年生（1974 年）頃から 2 年間くらい集めていました。紙パックが普及する前なので、県内だけでも 30 種類くらい集まりましたが、自転車以外にアシがない時代、なかなか増えなくなり、いつの間にかやめてしまいました。

5 年生くらいからは「切手」を集めました。封筒から切り抜いたり、親類宅でも集めてもらったりして、どんどん増えました。図 1 は「初日カバー」と呼ばれるもので、記念切手の発売当日の消印が押してあります。台紙は当時発売されていた月刊誌『スタンプクラブ』のページの切り抜きと思われます。当時は切手収集ブームで切手雑誌も複数発行されており、生まれて初めて雑誌の通販を利用しました。「切手を買うために、〇円分の切手を送る」時代でした。大きな本屋さんではカンヅメ入り（！）の使用済み切手（グラム売りでした）まで販売されていました。いつしかお小遣いが続かなくなり、フェー

ドアウトしてしまいました。

6 年生になり、ラジオ受信（ローカル、BCL）に興味が湧いてきました。『ラジオの製作』、『初歩のラジオ』などの雑誌で知識は増えるのですが、ラジオを買う元手がないので、父の小さなトランジスタラジオでバラエティ、ニュース、音楽番組、



図 1

何でも聴いていました。自宅が海に近いので、山口放送（KRY）より大分放送（OBS）の方が鮮明に聞こえ、頑張れば九州朝日放送（KBC）、RKB 毎日放送、南海放送（RNB）も聴取できました。

中学に入り、入学祝いでソニーのスカイセンサー 5900 を買ってもらいました！ナショナルのクーガー 2200 と並んで大ベストセラー機種です。当時（昭和 52 年：1977 年）は BCL が大ブームで受信機が次々に発売され、世界中に日本語放送がありました（<https://ja.wikipedia.org/wiki/BCL>）。国内・海外を問わず毎晩聴取して報告書を送り、受信確認証（<https://ja.wikipedia.org/wiki/ベリカード>）を集めました。BBC のビッグベンの鐘の音、ラジオ・オーストラリアのワライカワセミの鳴き声、ワルチング・マチルダ、今でも耳に、カセットテープに残っています。

アマチュア無線（ハム）にも興味が湧き、日本アマチュア無線連盟（JARL）に入会しました。アマチュア無線局を開局するには、「無線従事者免許（従免）」を取得した上、コールサイン（JA4〇〇〇など、4 は中国地区を表す）をもらうために「無線局免許状（局免）」を取得する必要があります。従免を取るためには広島まで行き、国家試験を受けるか、講習会を受けなければなりません。そこまでは情熱が湧きませんでしたので、JARL では準会員、SWL（Short Wave Listener）として活動しました。SWL はハムの交信を受信

して報告書を送り、QSL カード（図 2）、を集める活動です。手書きの受信報告書に対し全国各地からカラフルなカードを頂き、毎月の封筒が届くのがとても楽しみでした。

高校生になり、ラジオ方面はベリカード収集から番組へのリクエストハガキ送付に移行しました。NHK 山口放送局土曜日の「FM リクエストアワー」には毎週投稿し、ほぼ 100% 読んでもらうことが出来ました。無線方面は大学に入った機会に福岡工業大学まで試験を受けに行き、従事者免許を取得しましたが、コールサインの取得までには至っておりません。いつかそのうち…。

大学に入ってから読書にハマり、ありとあらゆる分野を読み耽りました。私はある作家にハマるとその作品を全部揃える悪いクセが（今でも）あります。

まずは畑 正憲、ムツゴロウさんにハマりました。テレビでは「ムツゴロウとゆかいな仲間たち」の放映が始まり高視聴率を得、ファンクラブの「ムツゴロウゆかいクラブ」に入会しました。昨年（平成 30 年：2018 年）4 月、博多での第 121 回日本小児科学会学術集会で特別講演としてムツゴロウさんの講演があり、初めて生のムツゴロウさんにお会い出来ました。83 歳とご高齢で、直前に大病を患い登壇も心配な状況だった様ですが、いざ動物のお話が始めるとエネルギーが溢れる展開で、あっという間の講演会でした。

次に渡辺淳一にハマりました。整

形外科のご出身で初期の作品は実体験に基づいた内容が多く、臨場感にあふれるものでした。含蓄があるエッセイも多数刊行されましたが、恋愛ものの小説が主流になった頃から縁遠くなりました。

その次は椎名 誠にハマりました。文体だけではなく、「怪しい探検隊」に代表される痛快な人生にはたいへん憧れました。実質編集長を務めていた『本の雑誌』は、不定期刊行されていた 1986 年頃から月刊となっ

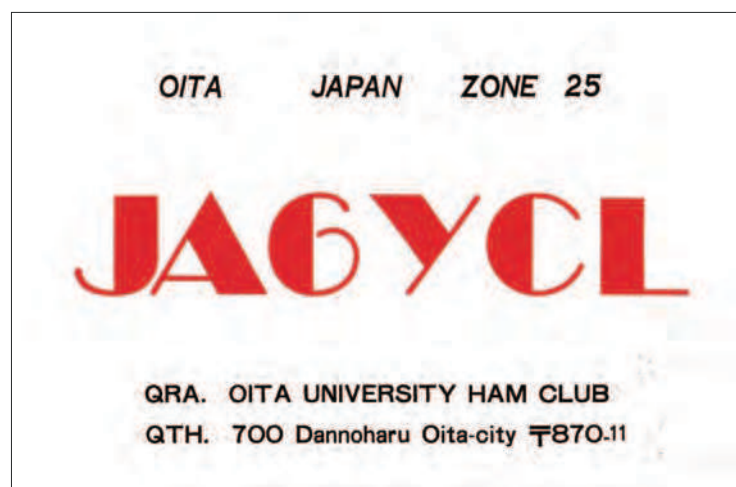


図 2

た現在に至るまで購読しています。

村上春樹にもハマりました。『風の歌を聴け』、次いで『1973年のピンボール』を読んだときは、「なんだこれは！」と衝撃が走りました。本屋さんを巡って揃えましたが、『ノルウェイの森』の後は私には難解となり、新刊を追うことはなくなりました。

一時期、紅茶にもハマリ、各種取り揃えて楽しんでいましたが、20歳を超えた頃よりアルコール系に方向転換しました。ちょうど純米酒が増えていた頃で、財力は無いので友人と共同購入し、日本中の日本酒を楽しんでいました。福岡市中洲のバーに行く様になり、バーボンにも興味が出てきましたが、学生には高値の花でしたので、雑誌等で知識だけが増えました。今は関税が安くなり、当時の1/3くらいの価格になっています。今こそ大量に買い込んで…。

40年以上にわたりハマっているのは、さだまさしです。中学1年生のとき「精霊流し」を聴いて、なんて美しい曲を書く人なんだろうと感動していたところ、たまたま聴いたKRYラジオ番組、「さだまさしの気ままな夜間飛行」での抱腹絶倒のおしゃべりに仰天し、どハマりしました。世の中にこんなに博識で、多弁で、多彩で、かつ

繊細な人間がいるとは！お小遣いを叩いて買った最初のLP「夢供養」は擦り切れるほど聴き、収録曲は今でも全部そらで歌えます。その後もお小遣いを貯めてはアルバムを揃え、現在に至るまでCDからDVDから書籍から、おそらく無いものは無いと自負しています。惜しむらくはコンサートになかなか行けないことです。光市でも過去2回開催されました。1回目は高校生の時（昭和57年：1982年10月26日）で、自転車を漕いで山を越え、光市民ホールで鑑賞しました（図3）。2回目は光市に帰ってすぐの平成13年（2001年）7月でした。チケットは取れたのですが、諸般の事情で行けませんでした。周南市でも時々コンサートがありますが、平成31年（2019年）4月の時は平日の18時開始で光市からの参加はキビシク、涙を飲みました。67歳になってもコンサート、テレビ出演、深夜放送など大活躍する姿を見て、「あのような大人になりたい！」と思った当時を懐かしみ、これからもハマり続けたいと考えています。

50歳を過ぎてからはMCZにハマっています。今度は元手はありますので（?）、円盤収集、テレビ鑑賞、現場参加など存分に楽しんでいます。MCZが何かはナイショです。



図 3